

アカデミック・カウンセリング実施の手引き

1. 実施の趣旨

正指導教員と副指導教員が学生のカウンセリングを定期的に行い、講義の受講、研究活動、日常生活等において生じる諸問題の相談に応じることを目的とする。

2. 期待できる成果

◎講義の受講や学生生活における諸問題への早期対応

- ◆講義受講や研究を円滑に進める上での問題を早期に発見し、解決につなげる。
- ◆休学率や退学率の低下

◎標準修業年限内での確実な修了

- ◆修士論文研究の進捗状況の点検

3. カウンセリング実施とカルテ作成手順

アカデミック・カウンセリングの実施は、前期授業開始後の4月下旬～5月上旬、および後期授業開始後の10月下旬～11月上旬の年2回とし、以下の手順で実施する。

<実施手順>

①正指導教員が、以下の環境理工学部 HP、または環境学研究科 HP からアカデミック・カウンセリングのカルテ (MS-Word ファイル) を入手し、学生に配布する。

- ・環境学研究科：http://ambiente.okayama-u.ac.jp/su_downloader/su_downloader/
- ・環境理工学部：<http://www.okayama-u.ac.jp/user/est/JIMUBU/jimushitsu/JIMUBU.HTM>

②学生は、カルテの学生記入欄に必要事項を記入し、正指導教員に提出する。

(前期は4月末、後期は10月末を提出期限とする。)

③正指導教員はと副指導教員は、学生が記入したカルテを用いて、それぞれ独立にカウンセリングを実施し、結果をカルテに記入する。

(正、副指導教員がカルテの原本を使用し、前期のカウンセリングは5月上旬、後期は11月上旬に実施する。)

④カウンセリング終了後、正指導教員が所属学系の教務学生係にカルテを提出する。

⑤各専攻のアカデミック・カウンセリング委員が、専攻所属学生のカルテを確認し、問題の有無について、報告書を作成する。

⑥問題が認められた場合は、アカデミック・カウンセリング委員会を開催し、対応策を協議する。

⑦研究科長がアカデミック・カウンセリングの結果を学系長会議に諮り、承認を得る。

4. G P A制度の導入について

平成 18 年度後期は、G P A制度の本格導入に向けての試行期間とする。授業担当教員は、今後のG P A制度導入に向けて、平成 18 年度後期から担当授業について以下の対応を行う。

①大学院授業科目シラバスに、学習目標を追加する。

(学習目標欄は、シラバスの Web 入力システムに追加済み。)

②学習目標と対応した成績評価基準を作成するとともに、以下の表に示す 5 段階評価を前提とした厳格な成績評価を行う。

成績	90 点以上	80～89 点	70～79 点	60～69 点	59 点以下
成績評価	秀	優	良	可	不可
G P との 関連	4	3	2	1	0

学生は、4月末までに、カルテの学生記入欄の各項目に記入後、正指導教員に提出してください。

教員は、カウンセリング結果を記入・押印後、学部・教務学生係へ提出してください。 <No.1>

専攻名：		講座名：			
学生番号：		学生氏名（自署）：			
正指導教員：		副指導教員：			
学 生 記 入 欄	<講義の受講状況と今後の計画>				
	研究テーマ：				
	<研究活動の状況と今後の計画（守秘義務を伴う研究活動の記入は不要）>				
	<学生生活・日常生活等の状況>				
	<その他の特記事項：学会発表等>				
カウンセリング結果 <各教員がカウンセリングを行い、結果を記入してください。>					
正指導教員 (今後の 指導計画 を含む)			印		
副指導教員			印		
前期終了時の 講義履修状況 (10月に記入)	G P A		後期終了時の 講義履修状況 (3月に記入)	G P A	
	単位数			単位数	

平成 年 月入学・進学者 年次・後期
 環境学研究科（博士前期課程）アカデミックカウンセリングカルテ

学生は、10月末までに、カルテの学生記入欄の各項目に記入後、正指導教員に提出してください。

教員は、カウンセリング結果を記入・押印後、学部・教務学生係へ提出してください。 <No.2>

専攻名：		講座名：			
学生番号：		学生氏名（自署）：			
正指導教員：		副指導教員：			
学 生 記 入 欄	<講義の受講状況と今後の計画>				
	研究テーマ：				
	<研究活動の状況と今後の計画（守秘義務を伴う研究活動の記入は不要）>				
	<学生生活・日常生活等の状況>				
<その他の特記事項：学会発表等>					
カウンセリング結果 <各教員がカウンセリングを行い、結果を記入してください。>					
正指導教員 (今後の 指導計画 を含む)					印
副指導教員					印
前期終了時の 講義履修状況 (10月に記入)	G P A			後期終了時の 講義履修状況 (3月に記入)	G P A
	単位数				単位数

岡山大学大学院環境学研究科規程の博士後期課程における取扱いについて

平成17年4月28日学系長会議決定

平成17年10月28日学系長会議改正

平成18年 2月24日学系長会議改正

平成18年10月27日学系長会議改正

平成19年3月30日学系長会議改正

1 指導教員等（第19条関係）

- 1) 正指導教員は、志望教育研究分野の教授又は准教授とし、合格者の認定のための専攻長会議に提示する。
- 2) 正指導教員は、副指導教員を1人以上は教授となるよう定め、入学年度の初めに研究科長に届け出るものとし、研究科長は、その結果を専攻長会議に報告する。
- 3) 副指導教員は、原則として、環境学研究科担当の専任の教授（「〇合」教授）又は准教授（「〇合」准教授）とする。ただし、学生の研究テーマにより、本学の他の大学院の教授又は准教授（いずれも博士後期課程「〇合」相当に限る。）とすることができる。
- 4) 正指導教員及び副指導教員は、指導学生に対し3名全員が定期的（年間2回）に学生の研究の進捗状況やその他学生生活上必要な事項についてカウンセリングを行い、カウンセリングの内容を学生毎に作成するカルテ（別紙様式1）に記載することとする。記載したカルテ（写）を各講座毎に選出する教授1名と副研究科長（教育担当）で組織するアカデミックカウンセリング委員会に提出し、提出されたカルテ（写）をもとにアカデミックカウンセリング委員は報告書（別紙様式2）を作成し、委員長（副研究科長）に提出することとする。

委員長は提出された報告書を確認し、問題があると判断される場合は、アカデミックカウンセリング委員会を招集し、対応を検討する。研究科長は委員会の検討内容をふまえ、迅速に問題解決がなされるよう指導教員または学生に助言する。

2 指導教員の変更（第19条第3項関係）

- 1) 指導教員の変更に関し、特別の事情とは、次の場合をいう。
 - ① 指導教員が定年となった場合
 - ② 指導教員が転任した場合
 - ③ 長期にわたり、学生の指導上支障が生じた場合
 - ④ その他
- 2) 指導教員の変更の必要が生じた場合は、変更しようとする指導教員名及び理由を研究科長に提出し、研究科長は、専攻長会議の承認を得るものとする。

3 学位論文及び最終試験（第28条関係）

- 1) 学位論文及び最終試験については、別に定める。

4 科目等履修生、特別聴講学生（第36条及び第37条の関係）

- 1) 選考は当該授業科目の担当教員の内諾を得たものについて専攻長会議が行うものとする。

平成 年 月入学・進学者 年次・前期
 環境学研究科（博士後期課程）アカデミックカウンセリングカルテ

学生は、4月末までにカルテの学生記入欄の各項目に記入後、正指導教員に提出してください。

教員は、カウンセリング結果を記入・押印後、自然科学研究科・学務係へ提出してください。<No.1>

専攻名：		講座名：	
学生番号：		学生氏名（自署）：	
正指導教員：		副指導教員：	副指導教員：
学 生 記 入 欄	<講義の受講状況と今後の計画>		
	研究テーマ：		
	<研究活動の状況と今後の計画（守秘義務を伴う研究活動の記入は不要）>		
	<学会等での論文発表の状況と今後の計画>		
	<その他の特記事項>		
カウンセリング結果 <各教員がカウンセリングを行い、結果を記入してください。>			
正指導教員 (今後の 指導計画 を含む)			印
副指導教員			印
副指導教員			印
前期終了時の 講義履修状況 (10月に記入)	G P A		後期終了時の 講義履修状況 (3月に記入)
	単位数		G P A
			単位数

平成 年 月入学・進学者 年次・後期
 環境学研究科（博士後期課程）アカデミックカウンセリングカルテ

学生は、10月末までにカルテの学生記入欄の各項目に記入後、正指導教員に提出してください。

教員は、カウンセリング結果を記入・押印後、自然科学研究科・学務係へ提出してください。<No.2>

専攻名：		講座名：			
学生番号：		学生氏名（自署）：			
正指導教員：		副指導教員：	副指導教員：		
学 生 記 入 欄	<講義の受講状況と今後の計画>				
	研究テーマ：				
	<研究活動の状況と今後の計画（守秘義務を伴う研究活動の記入は不要）>				
	<学会等での論文発表の状況と今後の計画>				
<その他の特記事項>					
カウンセリング結果 <各教員がカウンセリングを行い、結果を記入してください。>					
正指導教員 (今後の 指導計画 を含む)			印		
副指導教員			印		
副指導教員			印		
前期終了時の 講義履修状況 (10月に記入)	G P A		後期終了時の 講義履修状況 (3月に記入)	G P A	
	単位数			単位数	

教務関係事項 Educational Affairs (博士前期課程 Master's Course)

1. 履修案内 Registration of Class Subjects

① 博士前期課程修了要件について Course Requirements

博士前期課程の修了の要件は、同課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、環境学研究科の行う学位論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

但し、特に優れた研究業績を上げた者については、同課程に1年以上の在学をもって修了することもできます。

Those who have attended the master's course for more than 2 years, have completed 30 or more credits, have received the necessary research instruction, have passed the final examination and whose dissertation has been approved by the judging committee, will be approved as having completed the master's course.

Those students who have accomplished significant academic achievement after just one year of research may also be conferred with a master's degree.

② 授業科目の履修について Course registration

博士前期課程で開設している授業科目、単位数、担当教員は46ページ以降に掲載のとおりです。

博士前期課程の学生は、研究科規程・別表1(34～35ページに記載)に掲げる授業科目を、その履修方法に従い30単位以上を履修しなければなりません。

The list of courses offer, credits and person in charge for master course is available here pg. 46.

Master course students are required to obtain 30 credits and above as listed in the Regulation of Graduate School here pg.34 ~ 35.

③ コース別カリキュラムについて Selective Course

博士前期課程修了時にコース別カリキュラム(46～61ページに記載)の要件を満たしている学生に対しては、申請によりコース修了の証明書が発行されます。但し、複数のコースの修了を申請することはできません。申請方法は掲示によりお知らせします。

なお、必ずしもコース別カリキュラムの履修方法を満たさなくても、研究科規程で定める修了要件を満たせば修了できます。

Student who completed all the credits required for graduation as listed here (pg.46 ~ 61) will be issue with certificate of completion. However, only 1 course is considered for application. Application procedures will be announced through the notice board.

Student can graduate without obtaining the selective course, as long as one fulfill the graduation regulation as stated in the Regulations of Graduate School.

④ 授業科目のシラバスについて Syllabus

博士前期課程で開設している授業科目の概要や授業計画等の詳細な内容は、本学ホームページに掲載しています。各自、インターネットで確認してください。

岡山大学ホームページ→在学生・教職員の皆様へ→在学生のキャンパスライフ→シラバス

The details of subjects offered for the Master course(outline & syllabus) can be view from the Okayama University's homepage.

Please access the homepage and check on the syllabus.

URL: http://kymx.adm.okayama-u.ac.jp/hp/contents/syllabus_link.html

⑤ 履修登録について Course registration

博士前期課程の学生は、履修を希望する科目については、学年又は学期の始めの指定された期間に、学務システムにより登録することが必要です。(履修登録)

Course registration can be done at the Course Registration System in between the fixed period at the starting of fiscal year and new semester.

⑥ 修得単位の認定 Accreditation

各授業科目の単位修得の認定は、試験又は研究報告により担当教員が行います。

上記にかかわらず、特別研究及び演習の授業科目については、平素の成績により、単位の修得を認定することができるとされています。

Accreditation of courses is done by the course's instructor through examinations or reports. However, accreditation is also given to practical work and laboratory.

⑦ 成績 Grades

成績の評価は、優、良、可、修了、認定及び不可をもって表記し、優、良、可、修了、認定を合格（単位修得）、不可を不合格（単位未修得）としています。なお、履修登録をしたにもかかわらず、試験を受けていない等で成績評価の資料を欠く場合についても不可（この場合は、0点扱い。）と表記します。

評価基準 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）

なお、成績確認については、担当窓口の掲示等に従い、各自インターネットで確認してください。

Grade evaluation is described as "Excellent," "Good," "Pass," "Completed," "Approved," and "Fail."

"Excellent," "Good," "Pass," "Completed" and "Approved" are passing marks (credits are granted) and "Fail" is a failing mark (credit is not granted). In the case that you registered for the course but did not take the final test, the result will be an insufficient evaluation. Your grade will be recorded as "Fail" (in this case, the grade point is 0.)

Evaluation is based on your score as follows:

Excellent: 100 to 80 points, Good: 79 to 70 points, Pass: 69 to 60 points, Fail: 59 points or below.

Please check your results respectively on the Internet.

⑧ 他大学の大学院の授業科目の履修について Transfer of credits

博士前期課程の学生が、他大学の大学院（外国の大学院等を含む。）授業科目の履修を希望するときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。

なお、履修した単位は、10単位を限度として修了に必要な単位として認定することができます。

Students who wish to transfer credits from other universities (including oversea universities) should first obtain approval from respective supervisor, follow by the Dean of Graduate School.

Transfer of credits is limited to only 10 credits out of the total credits required for graduation.

⑨ 他大学の大学院等での研究指導の派遣について

Attending course off-campus (Dispatch to other graduate school)

博士前期課程の学生が、他大学の大学院（外国の大学院等を含む。）又は研究所等において研究指導を受けようとするときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。派遣期間は1年以内です。

Students who attend courses off-campus must obtain first obtain approval from supervisor follow by The Dean of Graduate School. Dispatch period is limited to 1 year.

2. 教育研究分野の内容 Fields of Study

1. 社会基盤環境学専攻

講座名	教育研究分野名	教育研究分野の内容	担当教員
都市環境創成学講座	環境数理解析学	生態系などの環境問題を、数学およびコンピュータを用いて研究する。またそのために必要な数学理論についての教育研究を行う。	梶原 毅 教授 佐々木 徹 准教授
	環境モデル解析学	環境モデルの導出、環境モデルによる数値シミュレーションを行なうための数値的手法、また数値結果の提示に必用となる可視化手法、数値結果に基づく予測と評価、及び実測データとの比較による数値結果の検証等をテーマに、数理的解析に必要な理論と技術についての教育研究を行う。	渡辺 雅二 教授
	都市環境計画学	豊かで環境負荷の小さい都市空間を創成していくための計画や施策の体系についての教育研究を行う。	谷口 守 教授 松中 亮治 准教授
	地域文化風景学	地域文化に配慮した景観の演出、地域の魅力の再発見、風景の保全と活用、町づくりの方向性についての教育研究を行う。	馬場 俊介 教授
	流域都市水工学	流域保全、都市環境の創成に係わる水文・水理・水工学の解析、設計手法についての教育研究を行う。	大久保 賢治 教授 前野 詩朗 准教授
	地盤環境設計学	地盤工学の知見を用いて、都市を主体とした地圏環境の創出、整備及び保全方法についての教育研究を行う。	花村 哲也 教授 竹下 祐二 准教授
	計算力学	計算機の有する能力を利用した様々な力学現象等についての教育研究を行う。	谷口 健男 教授
	環境施設設計学	コンクリート構造物及び土構造物を対象に、循環型社会における都市・地域構造物の性能照査型設計を、ライフサイクルエンジニアリングの観点から教育研究する。	村山 八洲雄 教授 西村 伸一 准教授
	振動環境設計学	都市内の交通機関を代表とする都市施設を振動源とする環境振動問題を取り上げ、発生のメカニズム、伝播過程に波動伝播理論を適用して説明すると共に、その予測手法と評価法及び対策法についての教育研究を行う。	竹宮 宏和 教授
農村環境創成学講座	植生管理学	自然環境の中で、人間の生活環境と密接な関係があり、代償植生の構成種となる雑草が有する諸機能を生理生態学的な観点から探究し、生態系における有用な機能の評価も含めて雑草的確な管理法についての教育研究を行う。	沖 陽子 教授
	土壌圏管理学	気圏と岩圏の中間体として存在する土壌圏の有する機能や役割の定量的解明ならびに人間活動に伴う土壌圏の状態変化の解明、その変化の修復方策を検討することにより、自然の再循環システムの平衡を踏まえた土壌圏の管理法についての教育研究を行う。	足立 忠司 教授 カーン・ハルノー・ラシット 准教授
	生産基盤管理学	生物生産の基盤である農地を中心に、土層中における物質・エネルギーの移動を解明するとともに、土地の持続的利用を保証する生産性の高度化、生産基盤の改良と保全、環境への負荷の削減等の管理方法についての教育研究を行う。	赤江 剛夫 教授 石黒 宗秀 准教授
	地形情報管理学	土地資源は人間活動と自然環境の調和を実現する上での物理的基盤であり、地形・土壌・水・生物・人工物等、広範な情報を包括する。土地資源の利用・保全・評価・修復システムの開発およびその応用についての教育研究を行う。	守田 秀則 准教授
	農村環境水理学	植物の生育に最適な水分環境を創出するため、農地や流域の乾湿の程度を気象データから評価し、灌漑と排水の時期と量の決定法について、さらには地表面近傍での水・熱輸送についての教育研究を行う。	三浦 健志 教授 諸泉 利嗣 准教授
	流域水文学	流域における水循環機構ならびに洪水や渇水などの流出機構を解明するとともに、それを基礎として、水文流出量の予測や人間活動に伴う水文環境の影響評価、水資源の合理的運用などについての教育研究を行う。	永井 明博 教授 近森 秀高 准教授

講座名	教育研究分野名	教育研究分野の内容	担当教員
農村環境創成学講座	環境施設管理学	施設構造物のみならずそれと周辺環境との調和を念頭に置き、環境施設設計学の理念に基づいて設計・施工された各種施設の本来の機能を十分に発揮させるために必要な施設の管理手法についての教育研究を行う。	村上 章 教授
	地域環境経済学	地域の環境を経済的システムという観点から解明することを目的に、大気・水・土地などの経済的評価や、公共財の社会的管理方策についての教育研究を行う。	品部 義博 教授
	地域地理システム学	地域間および国際間の関連の中での地域の存立形態やそのあり方を社会経済的側面から解明するとともに、統計データや環境・地理情報等による解析から地域計画や環境プラン等の作成についての教育研究を行う。	北村 修二 教授 金 科哲 准教授
	地域景観地理学	生活や文化が具現化された景観を分析し、それに関する諸課題を検討することを通じて、人間の生活環境、自然環境、およびそれらの関係を主に社会・文化的観点から教育研究する。	市南 文一 教授

2. 生命環境学専攻

講座名	教育研究分野名	教育研究分野の内容	担当教員
環境生態学講座	緑地生態学	植生の保全と持続的な利用を目的として、植物群落の維持メカニズムと構成種の生理生態的特性に関する教育研究を行う。	坂本 圭児 教授 三木 直子 准教授
	土壌環境管理学	森林・緑地の土壌生態系における物質動態メカニズムを環境要因、植物、および土壌微生物との相互関係から解明するための教育研究を行う。	嶋 一徹 准教授
	森林生態学	地球環境における森林生態系の役割とその動態および維持機構に関して生理生態学と生物地球化学の側面から教育研究を行う。	吉川 賢 教授 廣部 宗 准教授
	水系保全学	水系生物（主として貝類）の多様性の危機的状況を解説し、それらを保全するための理論と実際についての教育研究を行う。	福田 宏 准教授
	昆虫生態学	農作物及び森林害虫個体群の総合的管理技術開発の理論と実行に関する教育研究を行う。	中筋 房夫 教授
	進化生態学	生物（主に昆虫）の形質が、自然選択や性選択を主要因とする進化プロセスによって形作られたという視点にたつて環境と生物集団の関わりについての教育研究を行う。	宮竹 貴久 准教授
	気象生態学	生物とそれを取り巻く気象環境要因との相互作用を生理生態学を基盤として教育研究を行う。	田中丸 重美 准教授
	生物生産システム工学	持続的かつ環境保全的な生物生産の自動化、システム化を実現するための工学的アプローチについての教育研究を行う。	門田 充司 教授 難波 和彦 准教授
	資源管理学	農地資源、水資源及び農村社会資源の利用・保全管理に関する最適管理水準の決定ならびに望ましい資源管理のための社会・経済システムの設計についての教育研究を行う。	佐藤 豊信 教授 駄田井 久 講師
	食料生産システム管理学	持続可能で安定した食料生産システムの構築を目指した政策提言についての教育研究を行う。	小松 泰信 教授 横溝 功 教授
人間生態学講座	環境・保健モデル数理学	環境、保健に関する数理モデルの理論及びシミュレーションについての教育研究を行う。	石川 洋文 教授
	環境統計学	環境問題に関するデータを解析するために必要な数理統計学理論、及びコンピュータ上で解析を実行するための計算機統計学についての教育研究を行う。	垂水 共之 教授 笛田 薫 講師
	環境毒性管理学	水・陸域生態系における化学物質の動態及び影響評価・管理に関する教育研究を行う。	青山 勳 教授
	環境質計測制御学	環境水質および粉じんを含む大気質に関して、化学・生物学的計測とその制御に関する教育研究を行う。	河原 長美 教授 竹内 文章 准教授 毛利 紫乃 准教授
	環境疫学	環境と健康障害に関する、科学的評価法について主として疫学的手法を活用して研究し、環境要因と健康障害との因果関係を推定する基礎的方法論についての教育研究を行う。	津田 敏秀 教授
	国際保健学	発展途上国の社会環境に基づく健康問題や国境を越えた健康問題について学ぶ。持続可能な開発のための教育（ESD）の視点から、地球温暖化や酸性雨などの地球規模の環境問題と健康影響などについて事例研究を交えて教育研究する。	山本 秀樹 准教授
	環境侵襲学	環境に伴う侵襲と生体反応を評価し、薬物等による侵襲制御システムについての教育研究を行う。	宮脇 卓也 准教授
	環境感染症学	口腔環境と口腔細菌叢の関わりを解明し、バイオフィルム感染症予防に繋がる口腔健康科学についての教育研究を行う。	苔口 進 准教授
	生命・環境倫理学	生命の文化、法則、倫理、価値をめぐって、生命・環境倫理学についての教育研究を行う。	李 恵英 講師
	公衆歯科衛生学	歯科疾患を環境と宿主の相互作用という観点からとらえ、集団に対する歯科疾患の予防についての教育研究を行う。	山本 龍生 講師

3. 資源循環学専攻

講座名	教育研究分野名	教育研究分野の内容	担当教員
廃棄物マネジメント学講座	廃棄物工学	廃棄物の発生抑制, 再使用, 再生利用, そして適正な処理・処分をはかるための技術的方法, 経済的施策, 評価手法等の科学を教育研究する。	藤原 健史 教授 シェクダール・アショク 准教授
	環境安全学	資源, 廃棄物の循環にともなう環境への負荷とリスクと容量設定を化学, 生物, 文化かつ応用物理的解析手法についての教育研究を行う。	小野 芳朗 教授 水藤 寛 准教授
	環境創成材料学	リサイクル性, 環境負荷低減性等を考慮した建設材料およびコンクリート構造物の合理的で信頼性に富む設計手法についての教育研究を行う。	阪田 憲次 教授 綾野 克紀 准教授
	地圏環境評価学	地下水の挙動を定量的に評価するとともに, 地下水環境保全と地下水汚染についての教育研究を行う。	西垣 誠 教授
	気圏環境評価学	地域環境から地球温暖化問題にわたる大気環境測定, 解析, 予測手法, 風力エネルギーの利用とその周辺技術について教育するとともに, 快適大気環境創成に向けた, 工学的対策と自然機能利用を調和させる総合的な技術とその評価手法についての教育研究を行う。	山本 晋 教授 比江島 慎二 准教授 岩田 徹 講師
	環境調査実験解析学	環境に関わる現象解明のための調査や実験計画の方法, 及び環境データに特徴的に現れる時空間多変量データに対する統計的解析の理論と応用について教育研究を行う。	栗原 考次 教授 飯塚 誠也 講師
	循環型社会計画学	循環型社会の形成を支援する計画ツールと環境政策に関する教育研究を行う。	阿部 宏史 教授 松井 康弘 准教授
物質エネルギー学講座	セラミックス材料学	省資源, 省エネルギーに資する機能性セラミックス材料, 廃棄物処理における環境負荷の低減に資する耐火物の開発に関する教育研究を行う。	難波 徳郎 教授 紅野 安彦 准教授
	環境無機材料開発学	環境浄化及びクリーンエネルギーに関連する機能性材料, 並びに廃棄物の再資源化に関するプロセス技術についての教育研究を行う。	三宅 通博 教授 松田 元秀 准教授
	エネルギー変換材料学	熱エネルギー変換装置の高効率化による環境負荷低減を指向した作動温度の上昇, さらには化学装置の極限環境下での長期反応等へ適用できる構造材料についての教育研究を行う。	
	有機機能材料学	環境保全に有用な有機合成プロセス及び有機機能材料について講述するとともに, そうした有機材料の設計・合成についての教育研究を行う。	坪井 貞夫 教授 高口 豊 准教授
	環境高分子材料学	高性能や高機能に加え, リサイクル性や環境負荷低減性等を考慮した高分子材料の分子設計法とその効率的合成法についての教育研究を行う。	木村 邦生 教授 山崎 慎一 講師
	環境プロセス工学	環境工学の基礎となる物質と粒子が関与するプロセスの開発やその設計法およびグリーンケミストリーに基づく材料プロセスングについての教育研究を行う。	吉澤 秀和 教授 小野 努 准教授
	環境反応工学	環境保全・改善のための触媒及び持続可能なエネルギー資源確保のためのエネルギー資源変換のための触媒の研究開発を進め, 高活性触媒・固体収着剤の設計・開発についての教育研究を行う。	笹岡 英司 教授 ウッティン アズハ 准教授

3. コース別カリキュラム

① 都市環境創成学コース

履修方法

1. 指導教員の指導により、演習2単位及び特別研究10単位を含め、30単位以上を修得すること。
2. 定められた必修科目（所属する専攻の概論2単位）のほか、指導教員の指定する授業科目を必修科目とする。
3. 指導教員が特に必要があると認めた者は、2年次配当の必修科目（特別研究）を1年次で履修することができる。
4. 選択科目のうちから原則として12単位以上を修得すること。その際、*印のない選択科目のうちから原則として8単位以上を修得すること。

講義番号	授業科目	担当教員	配当年次	単位数	
				必修	選択
341107	都市環境計画学	谷口 守	1・2		2
341109	交通システム計画学	松中 亮治	1・2		2
341111	景観文化論	馬場 俊介	1・2		2
341113	流域動態解析	大久保 賢治	1・2		2
341115	水工環境設計学	前野 詩朗	1・2		2
341117	地下空間設計学	花村 哲也	1・2		2
341119	地盤環境施工学	竹下 祐二	1・2		2
341121	環境問題の数値シミュレーション	谷口 健男	1・2		2
341127	環境構造振動論	竹宮 宏和	1・2		2
341129	地域経済学	中村 良平	1・2		2
341130	都市経済学	中村 良平	1・2		2
341131	比較考古学	新納 泉	1・2		2
342210	水環境学	河原 長美	1・2		2
342212	生体影響評価論	毛利 紫乃	1・2		2
343101	廃棄物工学	藤原 健史	1・2		2
343105	システム工学	シュクダール アショク	1・2		2
343131	環境学原論・環境史	小野 芳朗	1・2		2
343107	環境創成材料学	阪田 憲次	1・2		2
343109	空間構造設計学	綾野 克紀	1・2		2
343111	地下水環境学	西垣 誠	1・2		2
343113	大気汚染防止工学	山本 晋	1・2		2
343117	新エネルギー開発工学	比江島 慎二	1・2		2
343115	大気保全工学	岩田 徹	1・2		2
343125	環境経済評価論	阿部 宏史	1・2		2
343133	環境政策論	松井 康弘	1・2		2
343123	応用倫理学	吉谷 啓次	1・2		2
343124	環境問題と国際関係法	佐野 寛	1・2		2
341123	環境施設設計学 *	村山 八洲雄	1・2		2
341125	地域環境システム工学 *	西村 伸一	1・2		2
341201	雑草生態学 *	沖 陽子	1・2		2
341217	流域水文学 *	永井 明博	1・2		2
341221	環境施設管理学 *	村上 章	1・2		2
342101	緑地保全学 *	坂本 圭児	1・2		2
342105	森林生態学 *	吉川 賢	1・2		2
342109	水系生物多様性保全学 *	福田 宏	1・2		2
342113	応用昆虫学 *	中筋 房夫	1・2		2
342115	気象生態反応学 *	田中丸 重美	1・2		2
342127	地域資源計画学 *	駄田井 久	1・2		2
342208	応用生態化学解析学 *	青山 勲	1・2		2
341101	環境数理解析学 *	梶原 毅	1・2		2
341103	現象数理解析学 *	佐々木 徹	1・2		2
341105	数値環境モデル学 *	渡辺 雅二	1・2		2
	演習	各教員	1・2	2	
	特別研究	各教員	1～2	10	
	所属する専攻の概論	各教員	1	2	

② 農村環境創成学コース

履修方法

1. 指導教員の指導により、演習2単位及び特別研究10単位を含め、30単位以上を修得すること。
2. 定められた必修科目（所属する専攻の概論2単位）のほか、指導教員の指定する授業科目を必修科目とする。
3. 指導教員が特に必要があると認めた者は、2年次配当の必修科目（特別研究）を1年次で履修することができる。
4. 選択科目のうちから、10単位以上を修得すること。ただし、指導教員が特に必要があると認めた者は、この限りではない。

講義番号	授業科目	担当教員	配当年次	単位数	
				必修	選択
341201	雑草生態学	沖 陽子	1・2		2
341203	土壌圏管理学	足立 忠司	1・2		2
341205	土壌機能学	カーン・ハルナー・ラシット	1・2		2
341207	農地環境整備学	赤江 剛夫	1・2		2
341209	環境物理化学	石黒 宗秀	1・2		2
341211	地形情報管理学	守田 秀則	1・2		2
341213	農村環境気象学	三浦 健志	1・2		2
341215	灌漑排水学	諸泉 利嗣	1・2		2
341217	流域水文学	永井 明博	1・2		2
341219	環境水文学	近森 秀高	1・2		2
341123	環境施設設計学	村山 八洲雄	1・2		2
341125	地域環境システム工学	西村 伸一	1・2		2
341221	環境施設管理学	村上 章	1・2		2
341223	地域環境経済学	品部 義博	1・2		2
341225	地域環境地理システム学	北村 修二	1・2		2
341227	持続的農村システム学	金 科哲	1・2		2
341229	地域景観地理学	市南 文一	1・2		2
	演習	各教員	1・2	2	
	特別研究	各教員	1～2	10	
	所属する専攻の概論	各教員	1	2	

③ 環境生態学コース

履修方法

1. 指導教員の指導により、演習2単位及び特別研究10単位を含め、30単位以上を修得すること。
2. 定められた必修科目（所属する専攻の概論2単位）のほか、指導教員の指定する授業科目を必修科目とする。
3. 指導教員が特に必要があると認めた者は、2年次配当の必修科目（特別研究）を1年次で履修することができる。
4. 選択科目のうちから、10単位以上を修得すること。ただし、指導教員が特に必要があると認めた者は、この限りではない。

講義番号	授業科目	担当教員	配当年次	単位数	
				必修	選択
342101	緑地保全学	坂本 圭児	1・2		2
342131	樹木生理生態学	三木 直子	1・2		2
342103	土壌環境学	嶋 一徹	1・2		2
342105	森林生態学	吉川 賢	1・2		2
342107	森林管理学	廣部 宗	1・2		2
342109	水系生物多様性保全学	福田 宏	1・2		2
342113	応用昆虫学	中筋 房夫	1・2		2
342111	個体群生態学	宮竹 貴久	1・2		2
342115	気象生態反応学	田中丸 重美	1・2		2
342119	農環境計測学	門田 充司	1・2		2
342129	農環境制御学	難波 和彦	1・2		2
342121	資源経済学	佐藤 豊信	1・2		2
342127	地域資源計画学	駄田井 久	1・2		2
342123	食料生産流通システム学	小松 泰信	1・2		2
342125	食料情報処理解析学	横溝 功	1・2		2
342208	応用生態化学解析学	青山 勲	1・2		2
341129	地域経済学	中村 良平	1・2		2
341131	比較考古学	新納 泉	1・2		2
341201	雑草生態学	沖 陽子	1・2		2
341203	土壌圏管理学	足立 忠司	1・2		2
341207	農地環境整備学	赤江 剛夫	1・2		2
341209	環境物理化学	石黒 宗秀	1・2		2
341211	地形情報管理学	守田 秀則	1・2		2
341213	農村環境気象学	三浦 健志	1・2		2
341215	灌漑排水学	諸泉 利嗣	1・2		2
341217	流域水文学	永井 明博	1・2		2
341223	地域環境経済学	品部 義博	1・2		2
341225	地域環境地理システム学	北村 修二	1・2		2
341227	持続的農村システム学	金 科哲	1・2		2
341229	地域景観地理学	市南 文一	1・2		2
343121	環境循環シミュレーション論	水藤 寛	1・2		2
	演習	各教員	1・2	2	
	特別研究	各教員	1～2	10	
	所属する専攻の概論	各教員	1	2	

④ 人間生態学コース

履修方法

1. 指導教員の指導により、演習2単位及び特別研究10単位を含め、30単位以上を修得すること。
2. 定められた必修科目（所属する専攻の概論2単位）のほか、指導教員の指定する授業科目を必修科目とする。
3. 指導教員が特に必要があると認めた者は、2年次配当の必修科目（特別研究）を1年次で履修することができる。
4. 選択科目のうちから、10単位以上を修得すること。ただし、指導教員が特に必要があると認めた者は、この限りではない。

講義番号	授業科目	担当教員	配当年次	単位数	
				必修	選択
342201	環境・保健モデルとシミュレーション	石川 洋文	1・2		2
342230	実験数理学（平成19年度開講せず）	石川 洋文	1・2		2
342231	実験数理学演習	石川 洋文	1・2		2
342204	環境影響調査論	垂水 共之	1・2		2
342203	統計学・情報科学	垂水 共之・笛田 薫	1・2		2
342232	統計学・情報科学演習	垂水 共之	1・2		2
342206	環境データ解析学	笛田 薫	1・2		2
342233	情報幾何学（平成19年度開講せず）	笛田 薫	1・2		2
342234	情報幾何学演習（平成19年度開講せず）	笛田 薫	1・2		2
342208	応用生態化学解析学	青山 勲	1・2		2
342210	水環境学	河原 長美	1・2		2
342214	資源環境制御工学	竹内 文章	1・2		2
342212	生体影響評価論	毛利 紫乃	1・2		2
342216	疫学	津田 敏秀	1・2		2
342219	国際保健学	山本 秀樹	1・2		2
342229	感染症学特論	苔口 進・横田 憲治	1・2		2
342225	生命・環境倫理学	李 恵英・青山 勲・ 吉谷 啓次・津田 敏秀・ 山本 秀樹	1・2		2
343131	環境学原論・環境史	小野 芳朗	1・2		2
342218	環境保健学	荻野 景規・山本 秀樹・ 津田 敏秀	1・2		2
342223	労働安全衛生マネジメント学 （平成19年度開講せず）	荻野 景規	1・2		2
342221	保健政策・管理学	土居 弘幸・津田 敏秀	1・2		2
342224	行動科学（平成19年度開講せず）	黒田 重利・松村 誠士	1・2		2
342222	産業保健学	荻野 景規・山本 秀樹・ 津田 敏秀	1・2		2
342227	健康科学概論	宮脇 卓也・山本 龍生・ 氏家 良人・岸本 悦央・ 四方 賢一 他	1・2		2
341133	常微分方程式	梶原 毅	1・2		2
343135	医学統計学（平成19年度開講せず）	栗原 考次	1・2		2
343136	環境情報統計学	飯塚 誠也	1・2		2
	演習	各教員	1・2	2	
	特別研究	各教員	1～2	10	
	所属する専攻の概論	各教員	1	2	

⑤ 廃棄物マネジメント学コース

履修方法

1. 指導教員の指導により、演習2単位及び特別研究10単位を含め、30単位以上を修得すること。
2. 定められた必修科目（所属する専攻の概論2単位）のほか、指導教員の指定する授業科目を必修科目とする。
3. 指導教員が特に必要があると認めた者は、2年次配当の必修科目（特別研究）を1年次で履修することができる。
4. 選択科目のうちから、10単位以上を修得すること。ただし、指導教員が特に必要があると認めた者は、この限りではない。

講義番号	授業科目	担当教員	配当年次	単位数	
				必修	選択
(資源循環学専攻)					
343101	廃棄物工学	藤原 健史	1・2		2
343131	環境学原論・環境史	小野 芳朗	1・2		2
343105	システム工学	シェクター アショク	1・2		2
343107	環境創成材料学	阪田 憲次	1・2		2
343109	空間構造設計学	綾野 克紀	1・2		2
343111	地下水環境学	西垣 誠	1・2		2
343113	大気汚染防止工学	山本 晋	1・2		2
343115	大気保全工学	岩田 徹	1・2		2
343117	新エネルギー開発工学	比江島 慎二	1・2		2
343119	環境統計科学	栗原 考次	1・2		2
343121	環境循環シミュレーション論	水藤 寛	1・2		2
343125	環境経済評価論	阿部 宏史	1・2		2
343133	環境政策論	松井 康弘	1・2		2
343129	多変量解析学（平成19年度開講せず）	飯塚 誠也	1・2		2
(社会文化科学研究科)					
343123	応用倫理学	吉谷 啓次	1・2		2
343124	環境問題と国際関係法	佐野 寛	1・2		2
(社会基盤環境学専攻)					
341107	都市環境計画学	谷口 守	1・2		2
341109	交通システム計画学	松中 亮治	1・2		2
341111	景観文化論	馬場 俊介	1・2		2
341113	流域動態解析	大久保 賢治	1・2		2
341115	水工環境設計学	前野 詩朗	1・2		2
341117	地下空間設計学	花村 哲也	1・2		2
341119	地盤環境施工学	竹下 祐二	1・2		2
341121	環境問題の数値シミュレーション	谷口 健男	1・2		2
341127	環境構造振動論	竹宮 宏和	1・2		2
(社会文化科学研究科)					
341129	地域経済学	中村 良平	1・2		2
341130	都市経済学	中村 良平	1・2		2
341131	比較考古学	新納 泉	1・2		2
(生命環境学専攻)					
342208	応用生態化学解析学	青山 勲	1・2		2
342210	水環境学	河原 長美	1・2		2
342214	資源環境制御工学	竹内 文章	1・2		2
342212	生体影響評価論	毛利 紫乃	1・2		2
342219	国際保健学	山本 秀樹	1・2		2
(資源循環学専攻)					
	演習	各教員	1・2	2	
	特別研究	各教員	1～2	10	
	所属する専攻の概論	各教員	1	2	

⑥ 物質エネルギー学コース

履修方法

1. 指導教員の指導により、演習2単位及び特別研究10単位を含め、30単位以上を修得すること。
2. 定められた必修科目（所属する専攻の概論2単位）のほか、指導教員の指定する授業科目を必修科目とする。
3. 指導教員が特に必要があると認めた者は、2年次配当の必修科目（特別研究）を1年次で履修することができる。
4. 選択科目のうちから、10単位以上を修得すること。ただし、指導教員が特に必要があると認めた者は、この限りではない。

講義番号	授業科目	担当教員	配当年次	単位数	
				必修	選択
343201	無機機能材料化学	紅野 安彦	1・2		2
343203	アモルファス材料科学	難波 徳郎	1・2		2
343205	環境無機材料解析学	三宅 通博	1・2		2
343207	環境無機機能性材料工学	松田 元秀	1・2		2
343211	環境有機合成	坪井 貞夫	1・2		2
343213	有機機能化学	高口 豊	1・2		2
343215	環境調和高分子合成論	木村 邦生	1・2		2
343217	環境調和高分子設計論	山崎 慎一	1・2		2
343219	拡散分離工学	小野 努	1・2		2
343221	環境微粒子工学	吉澤 秀和	1・2		2
343223	環境触媒学	笹岡 英司	1・2		2
343225	エネルギー資源循環工学	ウッデイン アズハ	1・2		2
	演習	各教員	1・2	2	
	特別研究	各教員	1～2	10	
	所属する専攻の概論	各教員	1	2	

⑦ 数理情報特別コース

履修方法

1. 指導教員の指導により、演習2単位及び特別研究10単位を含め、30単位以上を修得すること。
2. 定められた必修科目（所属する専攻の概論2単位）のほか、指導教員の指定する授業科目を必修科目とする。
3. 指導教員が特に必要があると認めた者は、2年次配当の必修科目（特別研究）を1年次で履修することができる。
4. 選択科目のうちから、10単位以上を修得すること。ただし、指導教員が特に必要があると認めた者は、この限りではない。

講義番号	授業科目	担当教員	配当年次	単位数	
				必修	選択
342201	環境・保健モデルとシミュレーション	石川 洋文	1・2		2
342230	実験数理学（平成19年度開講せず）	石川 洋文	1・2		2
342204	環境影響調査論	垂水 共之	1・2		2
342203	統計学・情報科学	垂水 共之・ 笛田 薫	1・2		2
341105	数値環境モデル学	渡辺 雅二	1・2		2
341137	地球環境数理学	渡辺 雅二	1・2		2
341136	応用計算解析論（平成19年度開講せず）	渡辺 雅二	1・2		2
341101	環境数理解析学	梶原 毅	1・2		2
341133	常微分方程式	梶原 毅	1・2		2
341132	力学系理論（平成19年度開講せず）	梶原 毅	1・2		2
343119	環境統計科学	栗原 考次	1・2		2
343135	医学統計学（平成19年度開講せず）	栗原 考次	1・2		2
343121	環境循環シミュレーション論	水藤 寛	1・2		2
343137	大規模線形計算論 （平成19年度開講せず）	水藤 寛	1・2		2
341103	現象数理解析学	佐々木 徹	1・2		2
341134	数理生物学における代数	佐々木 徹	1・2		2
341135	偏微分方程式（平成19年度開講せず）	佐々木 徹	1・2		2
342206	環境データ解析学	笛田 薫	1・2		2
342233	情報幾何学（平成19年度開講せず）	笛田 薫	1・2		2
343129	多変量解析学（平成19年度開講せず）	飯塚 誠也	1・2		2
343136	環境情報統計学	飯塚 誠也	1・2		2
411027	カテゴリー代数特論	中島 惇	1・2		2
411028	多元環特論	池畑 秀一	1・2		2
411029	離散幾何学特論	森本 雅治	1・2		2
	演習	各教員	1・2	2	
	特別研究	各教員	1～2	10	
	所属する専攻の概論	各教員	1	2	

(注) このカリキュラム表は平成19年度入学者から適用します。

平成18年度以前入学者は自分の入学年度の学生便覧のカリキュラム表により履修してください。
ただし、このカリキュラム表の授業科目は平成18年度以前入学者のコース修了要件となります。

⑧ 環境衛生学特別コース

履修方法

1. 指導教員の指導により、演習2単位及び特別研究10単位を含め、30単位以上を修得すること。
2. 定められた必修科目（所属する専攻の概論2単位）のほか、指導教員の指定する授業科目を必修科目とする。
3. 指導教員が特に必要があると認めた者は、2年次配当の必修科目（特別研究）を1年次で履修することができる。
4. 選択科目のうちから、10単位以上を修得すること。ただし、指導教員が特に必要があると認めた者は、この限りではない。

講義番号	授業科目	担当教員	配当年次	単位数	
				必修	選択
342203	統計学・情報科学	垂水 共之・笛田 薫	1	2	
342216	疫学	津田 敏秀	1	2	
342217	疫学演習	津田 敏秀	1・2		2
342218	環境保健学	荻野 景規・山本 秀樹・津田 敏秀	1	2	
342219	国際保健学	山本 秀樹	1・2		2
342220	国際保健学演習	山本 秀樹	1・2		2
342221	保健政策・管理学	土居 弘幸・津田 敏秀	1・2	2	
342222	産業保健学	荻野 景規・山本 秀樹・津田 敏秀	1・2		2
342223	労働安全衛生マネジメント学 (平成19年度開講せず)	荻野 景規	1・2		2
342224	行動科学 (平成19年度開講せず)	黒田 重利・松村 誠士	1・2		2
342225	生命・環境倫理学	李 恵英・青山 勲・吉谷 啓次・津田 敏秀・山本 秀樹	1・2	2	
342226	生命・環境倫理学演習	李 恵英・青山 勲・津田 敏秀・山本 秀樹	1・2		2
342227	健康科学概論*	宮脇 卓也・山本 龍生・氏家 良人・岸本 悦央・四方 賢一 他	1・2	(2)*	2
342228	健康科学概論演習	宮脇 卓也・山本 龍生	1・2		2
342229	感染症学特論	苔口 進・横田 憲治	1・2		2
	演習	各教員	1・2	2	
	特別研究	各教員	1～2	10	
	所属する専攻の概論	各教員	1	2	

(注) 医療のバックグラウンドのない(医学部・歯学部等の卒業生でない)者は、*「健康科学概論」を必修とする。

3. Curriculum of Each Course

① Course of Urban Environment Development

Registration Method

1. Students must take a total of 30 credits and above including seminar(2 credits), special research(10 credits) under the guidance of academic supervisor.
2. Compulsory subjects are seminar (2 credits) and any subjects required by one's academic supervisor.
3. One can also complete compulsory subjects of 2nd year [special research] in 1st year provided permission is obtained from one's academic supervisor.
4. One is required to complete minimum of 12 credits where 8 credits from the elective course list above (subject without *).

Class Subjects No.	Class Subjects	Instructors	Study Year	Credits	
				Required	Elective
341107	Urban and Environmental Planning	TANIGUCHI Mamoru	1・2		2
341109	Transportation Systems Planning	MATSUNAKA Ryoji	1・2		2
341111	Revitalization of Community Based on the Regional History, Culture and Nature	BABA Shunsuke	1・2		2
341113	Watershed Dynamics	OKUBO Kenji	1・2		2
341115	Hydraulic Structural Design	MAENO Shiro	1・2		2
341117	Underground Space Technology	HANAMURA Tetsuya	1・2		2
341119	Construction Engineering in Environmental Geotechnics	TAKESHITA Yuji	1・2		2
341121	Computational Mechanics	TANIGUCHI Takeo	1・2		2
341127	Structural and Environmental Vibration	TAKEMIYA Hirokazu	1・2		2
341129	Regional Economics	NAKAMURA Ryohei	1・2		2
341130	Urban Economics	NAKAMURA Ryohei	1・2		2
341131	Comparative Archaeology	NIIRO Izumi	1・2		2
342210	Water Environment	KAWARA Osami	1・2		2
342212	Toxicological and Ecotoxicological Assessment	MOHRI Shino	1・2		2
343101	Solid Waste Management Engineering	FUJIWARA Takeshi	1・2		2
343105	System Engineering	SHEKDAR Ashok	1・2		2
343131	Environmental Ethics and History	ONO Yoshiro	1・2		2
343107	Environmental Conscious Materials	SAKATA Kenji	1・2		2
343109	Composite Structural Design	AYANO Toshiki	1・2		2
343111	Groundwater and Environment	NISHIGAKI Makoto	1・2		2
343113	Atmospheric Pollution Protection Technology	YAMAMOTO Susumu	1・2		2
343117	New Energy Development Engineering	HIEJIMA Shinji	1・2		2
343115	Atmospheric Environment Prediction	IWATA Toru	1・2		2
343125	Environmental Economics	ABE Hirofumi	1・2		2
343133	Environmental Policy Studies	MATSUI Yasuhiro	1・2		2
343123	Applied Ethics	YOSHITANI Keiji	1・2		2
343124	Private and Public International Law of Environmental Problems	SANO Hiroshi	1・2		2
341123	Design of Environmental Infrastructures *	MURAYAMA Yasuo	1・2		2
341125	System Engineering for Rural and Urban Environments *	NISHIMURA Shin-ichi	1・2		2
341201	Weed Ecology *	OKI Yoko	1・2		2
341217	Catchment Hydrology *	NAGAI Akihiro	1・2		2
341221	Management of Environmental Facilities *	MURAKAMI Akira	1・2		2
342101	Ecological Conservation and Restoration *	SAKAMOTO Keiji	1・2		2
342105	Forest Ecology *	YOSHIKAWA Ken	1・2		2
342109	Conservation of Aquatic Biodiversity *	FUKUDA Hiroshi	1・2		2
342113	Integrated Pest Management in Agricultural Crops and Forest *	NAKASUJI Fusao	1・2		2
342115	Plant Meteorological Responses *	TANAKAMARU Shigemi	1・2		2
342127	Rural Resource Planning *	DATAI Hisashi	1・2		2
342208	Applied Ecological Chemistry and Analysis Environmental Ethics *	AOYAMA Isao	1・2		2
341101	Mathematical Analysis for Environmental Studies *	KAJIWARA Tsuyoshi	1・2		2
341103	Mathematical Analysis of Phenomena *	SASAKI Toru	1・2		2
341105	Numerical and Environmental Modeling *	WATANABE Masaji	1・2		2
	Seminar	Supervisor	1・2	2	
	Special Research	Supervisor	1～2	1 0	
	Introduction to your division		1	2	

② Course of Rural Environment Management

Registration Method

1. Students must take a total of 30 credits and above including seminar(2 credits), special research(10 credits) under the guidance of academic supervisor.
2. Compulsory subjects are seminar (2 credits) and any subjects required by one's academic supervisor.
3. One can also complete compulsory subjects of 2nd year [special research] in 1st year provided permission is obtained from one's academic supervisor.
4. One is required to complete minimum of 10 credits of elective course. However, this requirement can be exempted provided permission is obtained from one's academic supervisor.

Class Subjects No.	Class Subjects	Instructors	Study Year	Credits	
				Required	Elective
341201	Weed Ecology	OKI Yoko	1・2		2
341203	Lithosphere Management	ADACHI Tadashi	1・2		2
341205	Soil Function	KHAN, Md. H.R.	1・2		2
341207	Improvement of Agricultural Land Environment	AKAE Takeo	1・2		2
341209	Environmental Physical Chemistry	ISHIGURO Munehide	1・2		2
341211	Terrestrial Information Management	MORITA Hidenori	1・2		2
341213	Rural and Environmental Meteorology	MIURA Takeshi	1・2		2
341215	Irrigation and Drainage	MOROIZUMI Toshitsugu	1・2		2
341217	Catchment Hydrology	NAGAI Akihirc	1・2		2
341219	Environmental Hydrology	CHIKAMORI Hidetaka	1・2		2
341123	Design of Environmental Infrastructures	MURAYAMA Yasuc	1・2		2
341125	System Engineering for Rural and Urban Environments	NISHIMURA Shin-ichi	1・2		2
341221	Management of Environmental Facilities	MURAKAMI Akira	1・2		2
341223	Applied Environmental Economics	SHINABE Yoshihiro	1・2		2
341225	Regional and Environmental System	KITAMURA Shuji	1・2		2
341227	Sustainability of Rural System	KIM Doo-Chul	1・2		2
341229	Landscape Geography	ICHIMINAMI Fumikazt	1・2		2
	Seminar	Supervisor	1・2	2	
	Special Research	Supervisor	1～2	1 0	
	Introduction to your division		1	2	

③ Course of Environmental Ecology

Registration Method

1. Students must take a total of 30 credits and above including seminar(2 credits), special research(10 credits) under the guidance of academic supervisor.
2. Compulsory subjects are seminar (2 credits) and any subjects required by one's academic supervisor.
3. One can also complete compulsory subjects of 2nd year [special research] in 1st year provided permission is obtained from one's academic supervisor.
4. One is required to complete minimum of 10 credits of elective course. However, this requirement can be exempted provided permission is obtained from one's academic supervisor.

Class Subjects No.	Class Subjects	Instructors	Study Year	Credits	
				Required	Elective
342101	Ecological Conservation and Restoration	SAKAMOTO Keiji	1・2		2
342131	Tree Physiological Ecology	MIKI Naoko	1・2		2
342103	Environmental Soil Science	SHIMA Kazuto	1・2		2
342105	Forest Ecology	YOSHIKAWA Ken	1・2		2
342107	Forest Management	HIROBE Muneto	1・2		2
342109	Conservation of Aquatic Biodiversity	FUKUDA Hiroshi	1・2		2
342113	Integrated Pest Management in Agricultural Crops and Forest	NAKASUJI Fusao	1・2		2
342111	Evolutionary Ecology of Insect Population	MIYATAKE Takahisa	1・2		2
342115	Plant Meteorological Responses	TANAKAMARU Shigemi	1・2		2
342119	Instrumentation for Agricultural Environment	MONTA Mitsuji	1・2		2
342129	Control Engineering for Agricultural Environment	NAMBA Kazuhiko	1・2		2
342121	Economics of Resources' Use	SATOH Toyonobu	1・2		2
342127	Rural Resource Planning	DATAI Hisashi	1・2		2
342123	Farm Management and Food Marketing Systems	KOMATSU Yasunobu	1・2		2
342125	Data Processing Methods for Food Economics	YOKOMIZO Isao	1・2		2
342208	Applied Ecological Chemistry and Analysis Environmental Ethics	AOYAMA Isao	1・2		2
341129	Regional Economics	NAKAMURA Ryohei	1・2		2
341131	Comparative Archaeology	NIIRO Izumi	1・2		2
341201	Weed Ecology	OKI Yoko	1・2		2
341203	Lithosphere Management	ADACHI Tadashi	1・2		2
341207	Improvement of Agricultural Land Environment	AKAE Takeo	1・2		2
341209	Environmental Physical Chemistry	ISHIGURO Munehide	1・2		2
341211	Terrestrial Information Management	MORITA Hidenori	1・2		2
341213	Rural and Environmental Meteorology	MIURA Takeshi	1・2		2
341215	Irrigation and Drainage	MOROIZUMI Toshitsugu	1・2		2
341217	Catchment Hydrology	NAGAI Akihiro	1・2		2
341223	Applied Environmental Economics	SHINABE Yoshihiro	1・2		2
341225	Regional and Environmental System	KITAMURA Shuji	1・2		2
341227	Sustainability of Rural System	KIM Doo-Chul	1・2		2
341229	Landscape Geography	ICHIMINAMI Fumikazu	1・2		2
343121	Simulation Technology for Risk Evaluation	SUITO Hiroshi	1・2		2
	Seminar	Supervisor	1・2	2	
	Special Research	Supervisor	1～2	1 0	
	Introduction to your division		1	2	

④ Course of Human Ecology

Registration Method

1. Students must take a total of 30 credits and above including seminar(2 credits), special research(10 credits) under the guidance of academic supervisor.
2. Compulsory subjects are seminar (2 credits) and any subjects required by one's academic supervisor.
3. One can also complete compulsory subjects of 2nd year [special research] in 1st year provided permission is obtained from one's academic supervisor.
4. One is required to complete minimum of 10 credits of elective course. However, this requirement can be exempted provided permission is obtained from one's academic supervisor.

Class Subjects No.	Class Subjects	Instructors	Study Year	Credits	
				Required	Elective
342201	Models for Environment & Epidemiology and Simulations	ISHIKAWA Hirofumi	1・2		2
342230	Experimental Mathematics (This lecture is not offer in 2007)	ISHIKAWA Hirofumi	1・2		2
342231	Seminar in Experimental Mathematics	ISHIKAWA Hirofumi	1・2		2
342204	Environmental Influence Research	TARUMI Tomoyuki	1・2		2
342203	Statistics and Informatics	TARUMI Tomoyuki・ FUEDA Kaoru	1・2		2
342232	Seminar in Statistics and Informatics	TARUMI Tomoyuki	1・2		2
342206	Environmental Data Analysis	FUEDA Kaoru	1・2		2
342233	Information Geometry (This lecture is not offer in 2007)	FUEDA Kaoru	1・2		2
342234	Seminar in Information Geometry (This lecture is not offer in 2007)	FUEDA Kaoru	1・2		2
342208	Applied Ecological Chemistry and Analysis Environmental Ethics	AOYAMA Isao	1・2		2
342210	Water Environment	KAWARA Osami	1・2		2
342214	Resources and Environmental System Management	TAKEUCHI Fumiaki	1・2		2
342212	Toxicological and Ecotoxicological Assessment	MOHRI Shino	1・2		2
342216	Epidemiology	TSUDA Toshihide	1・2		2
342219	International Health	YAMAMOTO Hideki	1・2		2
342229	Course on Infectious Diseases	KOKEGUCHI Susumu・ YOKOTA Kenj	1・2		2
342225	Bioethics and Environmental Ethics	LI Huiying・AOYAMA Isao・YOSHITANI Keiji・ TSUDA Toshihide・ YAMAMOTO Hideki	1・2		2
343131	Environmental Ethics and History	ONO Yoshiro	1・2		2
342218	Environmental Health Science	OGINO Keiki・ YAMAMOTO Hideki・ TSUDA Toshihide	1・2		2
342223	Management of Occupational Safety and Health (This lecture is not offer in 2007)	OGINO Keiki	1・2		2
342221	Health Policy and Management	DOI Hiroyuki・ TSUDA Toshihide	1・2		2
342224	Behavioral Science (This lecture is not offer in 2007)	KURODA Shigetoshi・ MATSUMURA Seishi	1・2		2
342222	Industrial Health	OGINO Keiki・ YAMAMOTO Hideki・ TSUDA Toshihide	1・2		2
342227	Introduction of Health Science	MIYAWAKI Takuya・ YAMAMOTO Tatsuo・ UJIKE Yoshito・ KISHIMOTO Etsuo・ SHIKATA Kenichi	1・2		2
341133	Ordinary Differential Equations	KAJIWARA Tsuyoshi	1・2		2
343135	Biostatistics (This lecture is not offer in 2007)	KURIHARA Koji	1・2		2
343136	Environmental and Simulation Statistics	IIZUKA Masaya	1・2		2
	Seminar	Supervisor	1・2	2	
	Special Research	Supervisor	1～2	10	
	Introduction to your division		1	2	

⑤ Course of Waste Management

Registration Method

1. Students must take a total of 30 credits and above including seminar(2 credits), special research(10 credits) under the guidance of academic supervisor.
2. Compulsory subjects are seminar (2 credits) and any subjects required by one's academic supervisor.
3. One can also complete compulsory subjects of 2nd year [special research] in 1st year provided permission is obtained from one's academic supervisor.
4. One is required to complete minimum of 10 credits of elective course. However, this requirement can be exempted provided permission is obtained from one's academic supervisor.

Class Subjects No.	Class Subjects	Instructors	Study Year	Credits	
				Required	Elective
(Division of Sustainability of Resources)					
343101	Solid Waste Management Engineering	FUJIWARA Takeshi	1・2		2
343131	Environmental Ethics and History	ONO Yoshiro	1・2		2
343105	System Engineering	SHEKDAR Ashok	1・2		2
343107	Environmental Conscious Materials	SAKATA Kenji	1・2		2
343109	Composite Structural Design	AYANO Toshiki	1・2		2
343111	Groundwater and Environment	NISHIGAKI Makotc	1・2		2
343113	Atmospheric Pollution Protection Technology	YAMAMOTO Susumu	1・2		2
343115	Atmospheric Environment Prediction	IWATA Toru	1・2		2
343117	New Energy Development Engineering	HIEJIMA Shinji	1・2		2
343119	Statistical Science for Environmental studies	KURIHARA Koji	1・2		2
343121	Simulation Technology for Risk Evaluation	SUITO Hiroshi	1・2		2
343125	Environmental Economics	ABE Hirofumi	1・2		2
343133	Environmental Policy Studies	MATSUI Yasuhiro	1・2		2
343129	Multivariate Analysis (This lecture is not offer in 2007)	IIZUKA Masaya	1・2		2
(Graduate School of Humanities and Social Sciences)					
343123	Applied Ethics	YOSHITANI Keiji	1・2		2
343124	Private and Public International Law of Environmental Problems	SANO Hiroshi	1・2		2
(Division of Social Engineering and Environmental Management)					
341107	Urban and Environmental Planning	TANIGUCHI Mamoru	1・2		2
341109	Transportation Systems Planning	MATSUNAKA Ryoji	1・2		2
341111	Revitalization of Community Based on the Regional History, Culture and Nature	BABA Shunsuke	1・2		2
341113	Watershed Dynamics	OKUBO Kenji	1・2		2
341115	Hydraulic Structural Design	MAENO Shiro	1・2		2
341117	Underground Space Technology	HANAMURA Tetsuyε	1・2		2
341119	Construction Engineering in Environmental Geotechnics	TAKESHITA Yuji	1・2		2
341121	Computational Mechanics	TANIGUCHI Takeo	1・2		2
341127	Structural and Environmental Vibration	TAKEMIYA Hirokazu	1・2		2
(Graduate School of Humanities and Social Sciences)					
341129	Regional Economics	NAKAMURA Ryohei	1・2		2
341130	Urban Economics	NAKAMURA Ryohei	1・2		2
341131	Comparative Archaeology	NIIRO Izumi	1・2		2
(Division of Biological and Human Environment)					
342208	Applied Ecological Chemistry and Analysis Environmental Ethics	AOYAMA Isao	1・2		2
342210	Water Environment	KAWARA Osami	1・2		2
342214	Resources and Environmental System Management	TAKEUCHI Fumiaki	1・2		2
342212	Toxicological and Ecotoxicological Assessment	MOHRI Shino	1・2		2
342219	International Health	YAMAMOTO Hideki	1・2		2
(Division of Sustainability of Resources)					
	Seminar	Supervisor	1・2	2	
	Special Research	Supervisor	1～2	10	
	Introduction to your division		1	2	

⑥ Course of Material and Energy Science

Registration Method

1. Students must take a total of 30 credits and above including seminar(2 credits), special research(10 credits) under the guidance of academic supervisor.
2. Compulsory subjects are seminar (2 credits) and any subjects required by one's academic supervisor.
3. One can also complete compulsory subjects of 2nd year [special research] in 1st year provided permission is obtained from one's academic supervisor.
4. One is required to complete minimum of 10 credits of elective course. However, this requirement can be exempted provided permission is obtained from one's academic supervisor.

Class Subjects No.	Class Subjects	Instructors	Study Year	Credits	
				Required	Elective
343201	Inorganic Chemistry for Functional Materials	BENINO Yasuhiko	1 · 2		2
343203	Amorphous Materials Science	NANBA Tokuro	1 · 2		2
343205	Analytical Science for Environmental Inorganic Materials	MIYAKE Michihiro	1 · 2		2
343207	Environmental Inorganic Functional Materials Engineering	MATSUDA Motohide	1 · 2		2
343211	Environmental Organic Synthesis	TSUBOI Sadao	1 · 2		2
343213	Advanced Materials in Organic Chemistry	TAKAGUCHI Yutaka	1 · 2		2
343215	Environmental Polymer Synthesis	KIMURA Kunio	1 · 2		2
343217	Environmental Polymer Design	YAMAZAKI Shinichi	1 · 2		2
343219	Separation Engineering	ONO Tsutomu	1 · 2		2
343221	Particle Technology	YOSHIZAWA Hidekazu	1 · 2		2
343223	Environmental Catalysis	SASAOKA Eiji	1 · 2		2
343225	Catalytic Engineering for Sustainable Energy Resources	UDDIN Md. Azhar	1 · 2		2
	Seminar	Supervisor	1 · 2	2	
	Special Research	Supervisor	1 ~ 2	1 0	
	Introduction to your division		1	2	

⑦ Special Course of Applied Mathematics and Information

Registration Method

1. Students must take a total of 30 credits and above including seminar(2 credits), special research(10 credits) under the guidance of academic supervisor.
2. Compulsory subjects are seminar (2 credits) and any subjects required by one's academic supervisor.
3. One can also complete compulsory subjects of 2nd year [special research] in 1st year provided permission is obtained from one's academic supervisor.
4. One is required to complete minimum of 10 credits of elective course. However, this requirement can be exempted provided permission is obtained from one's academic supervisor.

Class Subjects No.	Class Subjects	Instructors	Study Year	Credits	
				Required	Elective
342201	Models for Environment & Epidemiology and Simulations	ISHIKAWA Hirofumi	1 · 2		2
342230	Experimental Mathematics (This lecture is not offer in 2007)	ISHIKAWA Hirofumi	1 · 2		2
342204	Environmental Influence Research	TARUMI Tomoyuki	1 · 2		2
342203	Statistics and Informatics	TARUMI Tomoyuki FUEDA Kaoru	1 · 2		2
341105	Numerical and Environmental Modeling	WATANABE Masaji	1 · 2		2
341137	Mathematical Science for Global Environment	WATANABE Masaji	1 · 2		2
341136	Applied Numerical Analysis (This lecture is not offer in 2007)	WATANABE Masaji	1 · 2		2
341101	Mathematical Analysis for Environmental Studies	KAJIWARA Tsuyoshi	1 · 2		2
341133	Ordinary Differential Equations	KAJIWARA Tsuyosh	1 · 2		2
341132	Dynamical Systems (This lecture is not offer in 2007)	KAJIWARA Tsuyoshi	1 · 2		2
343119	Statistical Science for Environmental Studies	KURIHARA Koji	1 · 2		2
343135	Biostatistics (This lecture is not offer in 2007)	KURIHARA Koji	1 · 2		2
343121	Simulation Technology for Risk Evaluation	SUITO Hiroshi	1 · 2		2
343137	Numerical Algorithms for Large Scale Linear Systems (This lecture is not offer in 2007)	SUITO Hiroshi	1 · 2		2
341103	Mathematical Analysis of Phenomena	SASAKI Toru	1 · 2		2
341134	Topics of Algebra in Mathematical Biology	SASAKI Toru	1 · 2		2
341135	Partial Differential Equations (This lecture is not offer in 2007)	SASAKI Toru	1 · 2		2
342206	Environmental Data Analysis	FUEDA Kaoru	1 · 2		2
342233	Information Geometry (This lecture is not offer in 2007)	FUEDA Kaoru	1 · 2		2
343129	Multivariate Analysis (This lecture is not offer in 2007)	IIZUKA Masaya	1 · 2		2
343136	Environmental and Simulation Statistics	IIZUKA Masayε	1 · 2		2
411027	Topics in Categorical Algebra	NAKAJIMA Atsushi	1 · 2		2
411028	Topics in Algebra	IKEHATA Shuichi	1 · 2		2
411029	Topics in Discrete Geometry	MORIMOTO Masaharu	1 · 2		2
	Seminar	Supervisor	1 · 2	2	
	Special Research	Supervisor	1 ~ 2	1 0	
	Introduction to your division		1	2	

⑧ Special Course of Public Health in Environmental Science

Registration Method

1. Students must take a total of 30 credits and above including seminar(2 credits), special research(10 credits) under the guidance of academic supervisor.
2. Compulsory subjects are seminar (2 credits) and any subjects required by one's academic supervisor.
3. One can also complete compulsory subjects of 2nd year [special research] in 1st year provided permission is obtained from one's academic supervisor.
4. One is required to complete minimum of 10 credits of elective course. However, this requirement can be exempted provided permission is obtained from one's academic supervisor.

Class Subjects No.	Class Subjects	Instructors	Study Year	Credits	
				Required	Elective
342203	Statistics and Informatics	TARUMI Tomoyuki・ FUEDA Kaoru	1	2	
342216	Epidemiology	TSUDA Toshihide	1	2	
342217	Seminar on Epidemiology	TSUDA Toshihide	1・2		2
342218	Environmental Health Science	OGINO Keiki・ YAMAMOTO Hideki・ TSUDA Toshihide	1	2	
342219	International Health	YAMAMOTO Hideki	1・2		2
342220	Seminar on International Health	YAMAMOTO Hideki	1・2		2
342221	Health Policy and Management	DOI Hiroyuki・ TSUDA Toshihide	1・2	2	
342222	Industrial Health	OGINO Keiki・ YAMAMOTO Hideki・ TSUDA Toshihide	1・2		2
342223	Management of Occupational Safety and Health (This lecture is not offer in 2007)	OGINO Keiki	1・2		2
342224	Behavioral Science (This lecture is not offer in 2007)	KURODA Shigetoshi・ MATSUMURA Seishi	1・2		2
342225	Bioethics and Environmental Ethics	LI Huiying・AOYAMA Isao・YOSHITANI Keiji・ TSUDA Toshihide・ YAMAMOTO Hideki	1・2	2	
342226	Seminar on Bioethics and Environmental Ethics	LI Huiying・AOYAMA Isao・TSUDA Toshihide・ YAMAMOTO Hideki	1・2		2
342227	Introduction of Health Science*	MIYAWAKI Takuya・ YAMAMOTO Tatsuo・ UIKE Yoshito・ KISHIMOTO Etsuo・ SHIKATA Kenichi	1・2	(2)*	2
342228	Seminar on Introduction of Health Science	MIYAWAKI Takuya・ YAMAMOTO Tatsuo	1・2		2
342229	Course on Infectious Diseases	KOKEGUCHI Susumu・ YOKOTA Kenji	1・2		2
	Seminar	Supervisor	1・2	2	
	Special Research	Supervisor	1～2	10	
	Introduction to your division		1	2	

* required for the students without medical/health background

1. 履修案内 Registration of Class Subjects

(1) 履修計画 Planning for Registration

履修計画の作成及び授業科目の履修にあたっては、正指導教員及び副指導教員の指導を受けて、指定の期日までに履修計画表を自然系研究科等事務部学務課大学院担当に提出し、併せて学内のインターネットから登録を行ってください。

When planning your study, after getting advised from your supervisor and co-supervisors, submit your Study Planning Sheet to Graduate School Section by the designated date and register by using the Internet in the university.

(2) 履修方法 Registration Method

① 修了するために必要な授業科目の合計単位数は、12単位です。

指導教員の指導により、自分が所属する専攻の特論2単位及び演習2単位を含め12単位を履修してください。詳細は次のとおりです。

Completion of course required minimum of 12 units.
One is required to take a total of 12 units, which include 2 units of major's subject, and 2 units of seminars. under the guidance of academic supervisor.

The details are as follows:

【必修科目 4単位】

学生の所属する専攻の特論

(社会環境学特論, 生命環境学特論, 資源循環学特論)

2単位

学生の指導教員が開講する演習

2単位

※ 学生の指導教員が開講する演習は、1年間2単位を3年間計6単位まで重複履修できます。

但し、2単位を超えて修得した単位は、選択必修科目の単位として計算します。

【選択必修科目 8単位以上】

学生の所属する専攻又は他専攻(他研究科・他大学大学院を含む)開講の科目 8単位以上

【Compulsory Subjects 4 units】

One's division major's subject:

2units

(Topics in Social Engineering and Environmental Management, Topics in Biological Human Environment, Topics in Sustainability of Resources)

Seminar conducted by one's supervisor:

2 units

※ Seminar conducted by one's supervisor can be taken as 6 units over a period of 3 years, 2 units/year.

However, other units other than the 2 seminar's unit can be consider as selective subject units.

【Elective Subjects 8 units and above】

Courses offer by one's major, other major, other graduate school: 8 units and above

② 学位論文の作成や他大学大学院での研究及び早期修了等に備えるため、上記①の授業科目は1年次に履修することをお勧めします。

Subjects should be taken in the first year of enrollment to provide for preparing doctoral thesis and receiving research guidance in other graduate school or studying abroad.

③ 授業科目のシラバスについて Syllabus

博士後期課程の授業科目の詳細な内容(概要や授業計画等)は、岡山大学ホームページに掲載しています。各自、インターネットで確認してください。

岡山大学ホームページ→在学生・教職員の皆様へ→在学生のキャンパスライフ→シラバス

The details of subjects offered for the Doctor course(outline & syllabus) can be view from the Okayama University's homepage.

Please access the homepage and check on the syllabus.

URL: http://kymx.adm.okayama-u.ac.jp/hp/contents/syllabus_link.html

2. 教育研究分野の内容

① 社会基盤環境学専攻

1. 都市環境創成学講座

教育研究分野	内 容	授業科目	担当教員	区 分
環境数理解析学	生態系などの環境問題を、数学およびコンピュータを用いて研究及び、そのために必要な数学理論についての教育研究を行う。	応用数理解析学	梶原 毅 教授	環
		応用数理解析学演習	梶原 毅 教授	環
環境モデル解析学	環境現象の本質の理解と環境保全に有用な数理科学的理論展開と技術開発を目標とし、環境現象のモデリングに関する理論と環境モデルによる数値的解析手法、及び実測データの導入等による環境予測と評価への数値的解析手法の実用化についての教育研究を行う。	数理環境モデル学	渡辺 雅二 教授	環
		数理環境モデル学演習	渡辺 雅二 教授	環
都市環境計画学	持続可能な社会、都市生活を実現していくための計画論および計画手法についての教育研究を行う。	都市サステナビリティ学	谷口 守 教授	環
		都市サステナビリティ学演習	谷口 守 教授	環
		交通環境計画学	松中 亮治 准教授	環
		交通環境計画学演習	松中 亮治 准教授	環
地域文化風景学	地域文化に配慮した景観の演出、地域の魅力の再発見、風景の保全と活用、町づくりの方向性についての教育研究を行う。	風景論	馬場 俊介 教授	環
		風景論演習	馬場 俊介 教授	環
陸水循環評価学	流域、都市における水循環の分析、予測及び対策に関する解析、評価手法についての教育研究を行う。	水循環評価学	大久保賢治 教授	環
		水循環評価学演習	大久保賢治 教授	環
		数値水理学	前野 詩朗 准教授	環
		数値水理学演習	前野 詩朗 准教授	環
地圏環境設計学	地盤工学の知見を用いて、都市を主体とした地圏環境問題への対処方法についての教育研究を行う。	地圏環境学	花村 哲也 教授	環
		地圏環境学演習	花村 哲也 教授	環
		応用地盤環境工学	竹下 祐二 准教授	環
		応用地盤環境工学演習	竹下 祐二 准教授	環
計算力学	計算機の有する能力を利用した様々な力学現象等の解明に必要な数値解析モデル生成技術とそれを用いた数値計算に関する教育研究を行う。	バーチャル都市空間作成技術	谷口 健男 教授	廃セ
		バーチャル都市空間作成技術演習	谷口 健男 教授	廃セ
環境施設設計学	コンクリート構造物、土構造物、複合構造物を対象に、循環型社会における都市・地域構造物の性能照査型設計を、ライフサイクルエンジニアリングの観点から教育研究する。	構造物のライフサイクルエンジニアリング	村山八洲雄 教授	環
		構造物のライフサイクルエンジニアリング演習	村山八洲雄 教授	環
		地盤環境解析学	西村 伸一 准教授	環
		地盤環境解析学演習	西村 伸一 准教授	環
振動環境設計学	都市内の環境振動問題を突発破壊的な地震外力問題と常時交通源などの人工振動源とを取り上げ、都市施設構造物の構造安全性と機能安全性について、不確定要素、ランダム現象を包含した動力学の観点から都市防災環境工学としての教育研究を行う。	振動環境設計学	竹宮 宏和 教授	環
		振動環境設計学演習	竹宮 宏和 教授	環
		都市地域政策論	中村 良平 教授	経
		比較考古学特論	新納 泉 教授	文

2. 農村環境創成学講座

教育研究分野	内 容	授業科目	担当教員	区分
植生管理学	生物環境の中で、人間の生活環境と密接な関係があり、代償植生の構成種となる雑草が有する諸機能を生理生態学的な観点から探究し、生態系の中で有用な機能を評価することを含めた雑草の的確な管理法についての教育研究を行う。	雑草機能管理学	沖 陽子 教授	環
		雑草機能管理学演習	沖 陽子 教授	環
土壌圏管理学	気圏と岩圏の中間体として存在する土壌圏の有する機能や役割の定量的解明ならびに人間活動に伴う土壌圏の状態変化の解明、その変化の修復方策を検討することにより、自然の再循環システムの平衡を踏まえた土壌圏の管理法についての教育研究を行う。	土壌圏修復学	足立 忠司 教授	環
		土壌圏修復学演習	足立 忠司 教授	環
		土壌圏機能学	モハメッド カーン 准教授	環
		土壌圏機能学演習	モハメッド カーン 准教授	環
生産基盤管理学	生物生産の基盤である農地を中心に、土層中における物質・エネルギーの移動を解明するとともに、土地の持続的利用を保証する生産性の高度化、生産基盤の改良と保全、環境への負荷の削減等の管理方法についての教育研究を行う。	農地環境保全学	赤江 剛夫 教授	環
		農地環境保全学演習	赤江 剛夫 教授	環
		土壌コロイド科学	石黒 宗秀 准教授	環
		土壌コロイド科学演習	石黒 宗秀 准教授	環
地形情報管理学	土地資源は人間活動と自然環境の調和を実現する上での物理的基盤であり、地形・土壌・水・生物・人工物等、広範な情報を包括する。土地資源の利用・保全・評価・修復システムの開発およびその応用についての教育研究を行う。	地形情報管理学特論	守田 秀則 准教授	環
		地形情報管理学特論演習	守田 秀則 准教授	環
農村環境水文学	植物の生育に最適な水分環境を創出するため、農地や流域の乾湿の程度を気象データから評価し灌漑と排水の時期と量の決定法について、さらには地表面近傍での水・熱輸送についての教育研究を行う。	生物環境水文学	三浦 健志 教授	環
		生物環境水文学演習	三浦 健志 教授	環
		地下水環境制御学	諸泉 利嗣 准教授	保
		地下水環境制御学演習	諸泉 利嗣 准教授	保
流域水文学	水資源の合理的利用という観点から、流域における水循環機構や水文流出特性等の水文流出機構を解明するとともに、それを基礎として水文流出量の予測や人間活動に伴う水文環境の影響評価についての教育研究を行う。	水循環解析学	永井 明博 教授	環
		水循環解析学演習	永井 明博 教授	環
		流域環境水文学	近森 秀高 准教授	環
		流域環境水文学演習	近森 秀高 准教授	環
環境施設管理学	施設構造物のみならずそれと周辺環境との調和を念頭に置き、環境施設設計学の理念に基づいて設計・施工された各種施設の本来の機能を十分に発揮させるために必要な施設の管理手法についての教育研究を行う。	環境施設管理学特論	村上 章 教授	環
		環境施設管理学特論演習	村上 章 教授	環
地域環境経済学	地域の環境を経済的システムという観点から解明することを目的に、大気・水・土地のような公共財の経済的評価や、それらに関わる社会経済的諸問題の検討、公共財の社会的管理方策についての教育研究を行う。	地域環境経済学特論	品部 義博 教授	環
		地域環境経済学特論演習	品部 義博 教授	環
地域地理システム学	地域間および国際間の関連の中での地域の存立形態やそのあり方を社会経済的側面から解明するとともに、統計データや環境・地理情報等による解析から地域計画や環境プラン等の作成についての教育研究を行う。	地域環境地理システム学特論	北村 修二 教授	環
		地域環境地理システム学特論演習	北村 修二 教授	環
		持続的農村システム特論	金 科哲 准教授	環
		持続的農村システム特論演習	金 科哲 准教授	環
地域景観地理学	生活や文化が具現化された景観を分析し、それに関する諸課題を検討することを通じて、人間の生活環境、自然環境、およびそれらの関係を主に社会・文化的観点から教育研究を行う。	地域景観地理学特論	市南 文一 教授	環
		地域景観地理学特論演習	市南 文一 教授	環

② 生命環境学専攻

1. 環境生態学講座

教育研究分野	内 容	授業科目	担当教員	区 分
緑地生態学	植生の保全と持続的な利用を目的として、植物群落の維持メカニズムと構成種の生態生理的特性に関する教育研究を行う。	応用植物生態学	坂本 圭児 教授	農
		応用植物生態学演習	坂本 圭児 教授	農
土壌環境管理学	森林・緑地の土壌生態系における物質動態メカニズムを環境要因、植物、および土壌微生物との相互関係から解明するための教育研究を行う。	森林土壌管理学	嶋 一徹 准教授	農
		森林土壌管理学演習	嶋 一徹 准教授	農
森林生態学	地球環境における森林生態系の役割とその動態および維持機構に関して生理生態学と生物地球化学の側面から教育研究を行う。	樹木生理学	吉川 賢 教授	農
		樹木生理学演習	吉川 賢 教授	農
		森林立地学	廣部 宗 准教授	農
		森林立地学演習	廣部 宗 准教授	農
水系保全学	水系生物（主として貝類）の多様性の危機的状況を解説し、それらを保全するための理論と実際についての教育研究を行う。	水系生物多様性解析学	福田 宏 准教授	農
		水系生物多様性解析学演習	福田 宏 准教授	農
昆虫生態学	農作物及び林業害虫個体群の構造と機能、及び昆虫をめぐる生物群集における生物間相互作用についての教育研究を行う。	昆虫生態学	中筋 房夫 教授	農
		昆虫生態学演習	中筋 房夫 教授	農
進化生態学	生物（主に昆虫）の形質が、自然選択や性選択を主な要因とする進化プロセスによって形作られたという視点にたつて生物集団についての教育研究を行う。	進化生態学	宮竹 貴久 准教授	農
		進化生態学演習	宮竹 貴久 准教授	農
気象生態学	生物とそれを取り巻く気象環境要因との相互作用を生理生態学を基盤として教育研究する。	生物微細気象学	田中丸重美 准教授	資
		生物微細気象学演習	田中丸重美 准教授	資
生物生産システム工学	持続的かつ環境保全的な生物生産の自動化、システム化を実現するための工学的アプローチについての教育研究を行う。	生物生産システム工学	門田 充司 教授	農
		生物生産システム工学演習	門田 充司 教授	農
		生物生産情報工学	難波 和彦 准教授	農
		生物生産情報工学演習	難波 和彦 准教授	農
資源管理学	食料安全保障水準をベースにした最適農地保全水準の決定ならびに農林業が持つ公益的機能の経済評価についての教育研究を行う。	資源・環境管理学	佐藤 豊信 教授	農
		資源・環境管理学演習	佐藤 豊信 教授	農
食料生産システム管理学	持続可能で安定した食料生産システムの構築に関する教育研究を行う。	食料システム管理学	小松 泰信 教授	農
		食料システム管理学演習	小松 泰信 教授	農
		食料情報システム学	横溝 功 教授	農
		食料情報システム学演習	横溝 功 教授	農

2. 人間生態学講座

教育研究分野	内 容	授業科目	担当教員	区分
環境・保健モデル 数理学	環境、保健に関する数理モデルの理論及び計算機実験についての教育研究を行う。	環境・保健モデル数理学	石川 洋文 教授	環
		環境・保健モデル数理学演習	石川 洋文 教授	環
環境統計学	環境問題に関するデータを解析するために必要な数理統計学理論、及びコンピュータ上で解析を実行するための計算機統計学についての教育研究を行う。	環境データ分析	垂水 共之 教授	環
		環境データ分析演習	垂水 共之 教授	環
環境毒性管理学	水・陸域生態系における化学物質の動態及び影響評価・管理に関する教育研究を行う。	環境毒性管理学	青山 勲 教授	資
		環境毒性管理学演習	青山 勲 教授	資
環境質計測制御学	環境水質、粉じんを含む大気質の化学・生物学的計測とその制御に関する教育研究を行う。	水圏環境評価学	河原 長美 教授	環
		水圏環境評価学演習	河原 長美 教授	環
		資源環境制御学	竹内 文章 准教授	保
		資源環境制御学演習	竹内 文章 准教授	保
		生物毒性評価論	毛利 紫乃 准教授	廃セ
		生物毒性評価論演習	毛利 紫乃 准教授	廃セ
環境疫学	環境（一般環境、産業現場、食品衛生など）と健康リスクについて疫学的手法を活用してリスクの評価を行い、それに基づいて、実際に社会に受け入れられる政策づくりの手法についての教育研究を行う。	環境リスクマネジメント学	津田 敏秀 教授	医
		環境リスクマネジメント学演習	津田 敏秀 教授	医
		環境保健政策学	津田 敏秀 教授	医
		環境保健政策学演習	津田 敏秀 教授	医
国際保健学	世界規模の環境問題に伴う国際的な健康問題や地球規模で発生する感染症、紛争に伴う難民問題と健康の問題などの諸問題についての教育研究を行う。	グローバルヘルス学	山本 秀樹 准教授	医
		グローバルヘルス学演習	山本 秀樹 准教授	医

③ 資源循環学専攻

1. 廃棄物マネジメント学講座

教育研究分野	内 容	授業科目	担当教員	区分
廃棄物工学	廃棄物の発生抑制，再使用，再生利用，そして適正な処理・処分をはかるための技術的方法，経済的政策，評価手法等の科学を教育研究する。	廃棄物工学特論	藤原 健史 教授	環
		廃棄物工学特論演習	藤原 健史 教授	環
		廃棄物処理技術基盤	シェクター アショク 准教授	環
		廃棄物処理技術基盤演習	シェクター アショク 准教授	環
環境安全学	資源，廃棄物の循環にともなう環境への負荷とリスクと容量設定を化学，生物かつ応用物理的解析を通して，その対策ツールについての教育研究を行う。	循環型環境容量論	小野 芳朗 教授	環
		循環型環境容量論演習	小野 芳朗 教授	環
		応用循環モデル解析学	水藤 寛 准教授	廃セ
		応用循環モデル解析学演習	水藤 寛 准教授	廃セ
環境創成材料学	リサイクル性，環境負荷低減性等を考慮した建設材料およびコンクリート建造物の合理的で信頼性に富む設計手法についての教育研究を行う。	社会基盤設計学	阪田 憲次 教授	環
		社会基盤設計学演習	阪田 憲次 教授	環
		構造材料循環学	綾野 克紀 准教授	廃セ
		構造材料循環学演習	綾野 克紀 准教授	廃セ
地圏環境評価学	地下水の挙動を定量的に評価するとともに，地下水環境保全と地下水汚染についての教育研究を行う。	地盤環境評価学	西垣 誠 教授	環
		地盤環境評価学演習	西垣 誠 教授	環
気圏環境評価学	地域環境から地球温暖化問題にわたる大気環境測定，解析，評価技術について教育するとともに，大気環境保全に向けた，工学的対策と自然機能利用を調和させる総合的な対策の評価手法についての教育研究を行う。	地球温暖化抑止論	山本 晋 教授	保
		地球温暖化抑止論演習	山本 晋 教授	保
		表層大気流体論	比江島慎二 准教授	環
		表層大気流体論演習	比江島慎二 准教授	環
環境調査実験解析学	環境に関わる現象解明のための調査や実験計画の方法，及び環境データに特徴的に現れる時空間多変量データに対する統計的解析の理論と応用についての教育研究を行う。	環境統計解析学	栗原 考次 教授	環
		環境統計解析学演習	栗原 考次 教授	環
循環型社会計画学	循環型社会の形成を支援する計画ツールと公共政策に関する教育研究を行う。	循環型社会システム論	阿部 宏史 教授	環
		循環型社会システム論演習	阿部 宏史 教授	環
		応用倫理学特論	吉谷 啓次 准教授	文
		国際環境法論	佐野 寛 教授	法

2. 物質エネルギー学講座

教育研究分野	内 容	授業科目	担当教員	区分
セラミックス材料学	省資源、省エネルギー、環境負荷の低減に資する無機材料の設計指針の開発に関する教育研究を行う。	計算材料科学	難波 徳郎 教授	環
		計算材料科学演習	難波 徳郎 教授	環
		無機材料化学	紅野 安彦 准教授	環
		無機材料化学演習	紅野 安彦 准教授	環
環境無機材料開発学	環境浄化及びクリーンエネルギーに関連する機能性材料、並びに廃棄物の再資源化に関するプロセス技術についての教育研究を行う。	環境無機材料設計学	三宅 通博 教授	環
		環境無機材料設計学演習	三宅 通博 教授	環
		環境無機材料機能学	松田 元秀 准教授	環
		環境無機材料機能学演習	松田 元秀 准教授	環
有機機能材料学	環境保全に有用な有機合成プロセス及び有機機能材料について講述するとともに、そうした有機材料の設計・合成についての教育研究を行う。	有機機能分子合成論	坪井 貞夫 教授	環
		有機機能分子合成論演習	坪井 貞夫 教授	環
		有機機能分子設計論	高口 豊 准教授	保
		有機機能分子設計論演習	高口 豊 准教授	保
環境高分子材料学	高性能や高機能に加え、リサイクル性や環境負荷低減性等を考慮した高分子材料の分子設計法とその効率的合成法を提唱する。	省エネルギー精密重合論	木村 邦生 教授	環
		省エネルギー精密重合論演習	木村 邦生 教授	環
		環境調和高分子高次構造論	山崎 慎一 講師	環
		環境調和高分子高次構造論演習	山崎 慎一 講師	環
環境プロセス工学	環境工学の基礎となる物質と粒子が関わる現象論の解明およびグリーンケミストリーの設計法についての教育研究を行う。	環境コロイド設計論	吉澤 秀和 教授	環
		環境コロイド設計論演習	吉澤 秀和 教授	環
		分離プロセス論	小野 努 准教授	環
		分離プロセス論演習	小野 努 准教授	環
環境反応工学	環境保全・改善のための触媒及び持続可能なエネルギー資源確保のためのエネルギー資源変換のための触媒の研究開発を進め、高活性触媒・固体収着剤の設計・開発についての教育研究を行う。	エネルギー環境触媒学	笹岡 英司 教授	環
		エネルギー環境触媒学演習	笹岡 英司 教授	環
		エネルギー資源変換触媒学	アス ^ハ ウッテ ^{イン} 准教授	環
		エネルギー資源変換触媒学演習	アス ^ハ ウッテ ^{イン} 准教授	環

2. Fields of Study

① Division of Social Engineering and Environmental Management

1. Department of Urban Environment Development

Research Areas	Class Subjects	Instructors
Mathematical Analysis for Environmental Studies	Applied Mathematical Analysis	KAJIWARA Tsuyoshi, Professor
	Seminar in Applied Mathematical Analysis	KAJIWARA Tsuyoshi, Professor
Environmental modeling and analysis	Mathematical and environmental modeling	WATANABE Masaji, Professor
	Seminar in Mathematical and environmental modeling	WATANABE Masaji, Professor
Urban and Environmental Planning	Sustainable Urban Planning	TANIGUCHI Mamoru, Professor
	Seminar in Sustainable Urban Planning	TANIGUCHI Mamoru, Professor
	Transportation and Environmental Planning	MATSUNAKA Ryoji, Associate Professor
	Seminar in Transportation and Environmental Planning	MATSUNAKA Ryoji, Associate Professor
Regional Cultural Landscape	Revitalization of community based on the Regional History, Culture and Nature	BABA Shunsuke, Professor
	Seminar in Revitalization of community based on the Regional History and Culture	BABA Shunsuke, Professor
Water Cycle Assessment	Water Cycle Assessment	OKUBO Kenji, Professor
	Seminar in Water Cycle Assessment	OKUBO Kenji, Professor
	Numerical Hydraulics	MAENO Shiro, Associate Professor
	Seminar in Numerical Hydraulics	MAENO Shiro, Associate Professor
Engineering in Environmental Geotechnics	Geospherical Environmental Geotechnics	HANAMURA Tetsuya, Professor
	Seminar in Geospherical Environmental Geotechnics	HANAMURA Tetsuya, Professor
	Applied Environmental Geotechnics	TAKESHITA Yuji, Associate Professor
	Seminar in Applied Environmental Geotechnics	TAKESHITA Yuji, Associate Professor
Computational Mechanics	Applied Computational Mechanics	TANIGUCHI Takeo, Professor
	Seminar in Applied Computational Mechanics	TANIGUCHI Takeo, Professor
Design of Environmental Infrastructures	Lifecycle Engineering of Structures	MURAYAMA Yasuo, Professor
	Seminar in Lifecycle Engineering of Structures	MURAYAMA Yasuo, Professor
	Analysis of Geoenvironment	NISHIMURA Shin-ichi, Associate Professor
	Seminar in Analysis of Geoenvironment	NISHIMURA Shin-ichi, Associate Professor
Vibration Conscious Structural Design	Vibration Conscious Structural Design	TAKEMIYA Hirokazu, Professor
	Seminar on Vibration Conscious Structural Design	TAKEMIYA Hirokazu, Professor
	Urban and Regional Economic Policy	NAKAMURA Ryohei, Professor
	Advanced Comparative Archaeology	NIIRO Izumi, Professor

2. Department of Rural Environment Management

Research Areas	Class Subjects	Instructors
Vegetation Management	Function and Management of Weed Vegetation	OKI Yoko, Professor
	Seminar in Function and Management of Weed Vegetation	OKI Yoko, Professor
Lithosphere Management	Lithosphere Rehabilitation	ADACHI Tadashi, Professor
	Seminar in Lithosphere Rehabilitation	ADACHI Tadashi, Professor
	Lithosphere Function	Md. H.R. KHAN, Associate Professor
	Seminar in Lithosphere Function	Md. H.R. KHAN, Associate Professor
Agricultural Land Engineering	Conservation of Agricultural Land Environment	AKAE Takeo, Professor
	Seminar in Conservation of Agricultural Land Environment	AKAE Takeo, Professor
	Soil Colloid Science	ISHIGURO Munehide, Associate Professor
	Seminar in Soil Colloid Science	ISHIGURO Munehide, Associate Professor
Terrestrial Information Management	Advanced Terrestrial Information Management	MORITA Hidenori, Associate Professor
	Seminar in Advanced Terrestrial Information Management	MORITA Hidenori, Associate Professor
Irrigation and Drainage	Irrigation and Environmental Biophysics	MIURA Takeshi, Professor
	Seminar in Irrigation and Environmental Biophysics	MIURA Takeshi, Professor
	Environmental Soil Hydrology	MOROIZUMI Toshitsugu, Associate Professor
	Seminar in Environmental Soil Hydrology	MOROIZUMI Toshitsugu, Associate Professor
Catchment Hydrology	Analysis of Hydrologic Process	NAGAI Akihiro, Professor
	Seminar in Analysis of Hydrologic Process	NAGAI Akihiro, Professor
	Catchment and Hydrologic Environment	CHIKAMORI Hidetaka, Associate Professor
	Seminar in Catchment and Hydrologic Environment	CHIKAMORI Hidetaka, Associate Professor
Management of Environmental Facilities	Advanced Course of Management of Environmental Facilities	MURAKAMI Akira, Professor
	Seminar in Advanced Course of Management of Environmental Facilities	MURAKAMI Akira, Professor
Environmental Economics	Advanced Environmental Economics	SHINABE Yoshihiro, Professor
	Seminar in Advanced Environmental Economics	SHINABE Yoshihiro, Professor
Regional and Environmental System	Regional System and Environmental Economy	KITAMURA Shuji, Professor
	Seminar in Regional System and Environmental Economy	KITAMURA Shuji, Professor
	Advanced Course of Sustainability of Rural System	KIM Doo-Chul, Associate Professor
	Seminar in Advanced Course of Sustainability of Rural System	KIM Doo-Chul, Associate Professor
Landscape Geography	Advanced Landscape Geography	ICHIMINAMI Fumikazu, Professor
	Seminar in Advanced Landscape Geography	ICHIMINAMI Fumikazu, Professor

② Division of Biological and Human Environment

1. Department of Environmental Ecology

Research Areas	Class Subjects	Instructors
Applied Plant Ecology	Applied Plant Ecology	SAKAMOTO Keiji, Professor
	Seminar in Applied Plant Ecology	SAKAMOTO Keiji, Professor
Environmental soil science	Ecological management of Plant-Soil Systems	SHIMA Kazuto, Associate Professor
	Seminar in Ecological management of Plant-Soil Systems	SHIMA Kazuto, Associate Professor
Forest Ecology	Tree Physiology	YOSHIKAWA Ken, Professor
	Seminar in Tree Physiology	YOSHIKAWA Ken, Professor
	Forest Environments	HIROBE Muneto, Associate Professor
	Seminar in Forest Environments	HIROBE Muneto, Associate Professor
Conservation of Aquatic Biodiversity	Conservation Malacology	FUKUDA Hiroshi, Associate Professor
	Seminar in Conservation Malacology	FUKUDA Hiroshi, Associate Professor
Insect Ecology	Insect Ecology	NAKASUJI Fusao, Professor
	Seminar in Insect Ecology	NAKASUJI Fusao, Professor
Evolutionary Ecology	Evolutionary Ecology	MIYATAKE Takahisa, Associate Professor
	Seminar in Evolutionary Ecology	MIYATAKE Takahisa, Associate Professor
Meteorological Ecology	Bio-micrometeorology	TANAKAMARU Shigemi, Associate Professor
	Seminar in Bio-micrometeorology	TANAKAMARU Shigemi, Associate Professor
Bioproduction Systems Engineering	Bioproduction Systems Engineering	MONTA Mitsuji, Professor
	Seminar in Bioproduction Systems Engineering	MONTA Mitsuji, Professor
	Information Engineering for Bioproduction	NAMBA Kazuhiko, Associate Professor
	Seminar in Information Engineering for Bioproduction	NAMBA Kazuhiko, Associate Professor
Resources Management	Economics of Environmental and Resources Management	SATOH Toyonobu, Professor
	Seminar in Economics of Environmental and Resources Management	SATOH Toyonobu, Professor
Farm Management Systems and Information Processing	Management Systems for Food Economics	KOMATSU Yasunobu, Professor
	Seminar in Management Systems for Food Economics	KOMATSU Yasunobu, Professor
	Information Processing Methods for Food Economics	YOKOMIZO Isao, Professor
	Seminar in Information Processing Methods for Food Economics	YOKOMIZO Isao, Professor

2. Department of Human Ecology

Research Areas	Class Subjects	Instructors
Mathematical Models for Environment and Epidemiology	Mathematical Models for Environment and Epidemiology	ISHIKAWA Hirofumi, Professor
	Seminar in Mathematical Models for Environment and Epidemiology	ISHIKAWA Hirofumi, Professor
Environmental Statistics	Advanced Environmental Influence Research	TARUMI Tomoyuki, Professor
	Seminar in Advanced Environmental Influence Research	TARUMI Tomoyuki, Professor
Environmental Toxicity Management	Environmental Toxicity Management	AOYAMA Isao, Professor
	Seminar in Environmental Toxicity Management	AOYAMA Isao, Professor
Environmental Quality Measurement & Control	Evaluation of Water Environment	KAWARA Osami, Professor
	Seminar in Evaluation of Water Environment	KAWARA Osami, Professor
	Advanced Resources and Environmental System Management	TAKEUCHI Fumiaki, Associate Professor
	Seminar in Advanced Resources and Environmental System Management	TAKEUCHI Fumiaki, Associate Professor
	Environmental and Applied Toxicology	MOHRI Shino, Associate Professor
	Seminar in Environmental and Applied Toxicology	MOHRI Shino, Associate Professor
Environmental Epidemiology	Principle of Environmental Risk Management	TSUDA Toshihide, Professor
	Seminar in Principle of Environmental Risk Management	TSUDA Toshihide, Professor
	Environmental Health Policy	TSUDA Toshihide, Professor
	Seminar in Environmental Health Policy	TSUDA Toshihide, Professor
International Health	Global Health	YAMAMOTO Hideki, Associate Professor
	Seminar in Global Health	YAMAMOTO Hideki, Associate Professor

③ Division of Sustainability of Resources

1. Department of Waste Management

Research Areas	Class Subjects	Instructors
Solid Waste Management Engineering	Special Topics in Waste Management Engineering	FUJIWARA Takeshi, Professor
	Seminar in Special Topics in Waste Management Engineering	FUJIWARA Takeshi, Professor
	Basic Technologies for Solid Waste Management	SHEKDAR Ashok, Associate Professor
	Seminar in Basic Technologies for Solid Waste Management	SHEKDAR Ashok, Associate Professor
Risk Management in Sustainable Society	Risk Control of Hazardous Substances	ONO Yoshiro, Professor
	Seminar in Risk Control of Hazardous Substances	ONO Yoshiro, Professor
	Applied Model Analysis for Risk Control	SUITO Hiroshi, Associate Professor
	Seminar in Applied Model Analysis for Risk Control	SUITO Hiroshi, Associate Professor
Environmental Conscious Materials	Infrastructural Design	SAKATA Kenji, Professor
	Seminar in Infrastructural Design	SAKATA Kenji, Professor
	Composite Material Science	AYANO Toshiki, Associate Professor
	Seminar in Composite Material Science	AYANO Toshiki, Associate Professor
Assessment of Geo-environment	Geo-environmental Evaluation	NISHIGAKI Makoto, Professor
	Seminar in Geo-environmental Evaluation	NISHIGAKI Makoto, Professor
Atmospheric Environment Assessment	Global Warming Protection	YAMAMOTO Susumu, Professor
	Seminar in Global Warming Protection	YAMAMOTO Susumu, Professor
	Fluid Theory of Atmospheric Surface Layer	HIEJIMA Shinji, Associate Professor
	Seminar in Fluid Theory of Atmospheric Surface Layer	HIEJIMA Shinji, Associate Professor
Design and Analysis of Environmental Survey and Experiments	Statistical Analysis for Environmental studies	KURIHARA Koji, Professor
	Seminar in Statistical Analysis for Environmental studies	KURIHARA Koji, Professor
Planning of Sound-Material Cycle Society	Systems Analysis for Sound Material-Cycle Society	ABE Hirofumi, Professor
	Seminar in Systems Analysis for Sound Material-Cycle Society	ABE Hirofumi, Professor
	Special Topics in Applied Ethics	YOSHITANI Keiji, Associate Professor
	International Environmental Law	SANO Hiroshi, Professor

2. Department of Material and Energy Science

Research Areas	Class Subjects	Instructors
Ceramic Materials	Computational Materials Science	NANBA Tokuro, Professor
	Seminar in Computational Materials Science	NANBA Tokuro, Professor
	Inorganic Materials Chemistry	BENINO Yasuhiko, Associate Professor
	Seminar in Inorganic Materials Chemistry	BENINO Yasuhiko, Associate Professor
Development of Environmental Inorganic Materials	Environmental Inorganic Materials Design	MIYAKE Michihiro, Professor
	Seminar in Environmental Inorganic Materials Design	MIYAKE Michihiro, Professor
	Environmental Inorganic Materials Science	MATSUDA Motohide, Associate Professor
	Seminar in Environmental Inorganic Materials Science	MATSUDA Motohide, Associate Professor
Advanced Organic Materials	Synthesis of Advanced Organic Molecules	TSUBOI Sadao, Professor
	Seminar in Synthesis of Advanced Organic Molecules	TSUBOI Sadao, Professor
	Molecular Design for Advanced Materials	TAKAGUCHI Yutaka, Associate Professor
	Seminar in Molecular Design for Advanced Materials	TAKAGUCHI Yutaka, Associate Professor
Environmental Polymer Chemistry	Precise Polymerization Methodology	KIMURA Kunio, Professor
	Seminar in Precise Polymerization Methodology	KIMURA Kunio, Professor
	Structural Properties of Environmental Polymers	YAMAZAKI Shinichi, Lecturer
	Seminar in Structural Properties of Environmental Polymers	YAMAZAKI Shinichi, Lecturer
Environmental Process Engineering	Function Design of Colloidal Particles	YOSHIZAWA Hidekazu, Professor
	Seminar in Function Design of Colloidal Particles	YOSHIZAWA Hidekazu, Professor
	Process Design for Separation	ONO Tsutomu, Associate Professor
	Seminar in Process Design for Separation	ONO Tsutomu, Associate Professor
Environmental Reaction Engineering	Energy and Environmental Catalysis	SASAOKA Eiji, Professor
	Seminar in Energy and Environmental Catalysis	SASAOKA Eiji, Professor
	Catalysis for Energy Resources Conversion	UDDIN Md. Azhar, Associate Professor
	Seminar in Catalysis for Energy Resources Conversion	UDDIN Md. Azhar, Associate Professor

④ 専攻特論（必修科目） Topics in the student's division (Compulsory Subjects)

1. 社会基盤環境学専攻 (Division of Social Engineering and Environmental Management)

授業科目名等	社会環境学特論 Topics in Social Engineering and Environmental Management
講義テーマ	社会基盤環境学の現状と展望 Current Topics in Social Engineering and Environmental Management
講義室	環境理工学部棟1階 106講義室 Lecture Room 106, Building of Faculty of Environmental Science and Technology

日 時 The Date and Time	担当教員 Instructors	内 容 Contents
8月1日(水) 1限 Aug.1 Wed., 1period	谷口 健男 教授 TANIGUCHI Takeo, Professor	人間活動と環境負荷について
8月1日(水) 2限 Aug.1 Wed., 2period	谷口 健男 教授 TANIGUCHI Takeo, Professor	環境負荷低減について
8月1日(水) 3限 Aug.1 Wed., 3period	谷口 健男 教授 TANIGUCHI Takeo, Professor	安心安全な人間活動とは
8月1日(水) 4限 Aug.1 Wed., 4period	◎谷口 守 教授 TANIGUCHI Mamoru, Professor	社会基盤の計画と環境への影響(1)
8月1日(水) 5限 Aug.1 Wed., 5period	◎谷口 守 教授 TANIGUCHI Mamoru, Professor	社会基盤の計画と環境への影響(2)
8月2日(木) 1限 Aug.2 Thur., 1period	◎谷口 守 教授 TANIGUCHI Mamoru, Professor	社会基盤の計画と環境への影響(3)
8月2日(木) 2限 Aug.2 Thur., 2period	永井 明博 教授 NAGAI Akihiro, Professor	地域の水文循環と人間活動との関わり(1)
8月2日(木) 3限 Aug.2 Thur., 3period	永井 明博 教授 NAGAI Akihiro, Professor	地域の水文循環と人間活動との関わり(2)
8月2日(木) 4限 Aug.2 Thur., 4period	永井 明博 教授 NAGAI Akihiro, Professor	地域の水文循環と人間活動との関わり(3)
8月2日(木) 5限 Aug.2 Thur., 5period	沖 陽子 教授 OKI Yoko, Professor	人間活動に伴う代償植生の変遷
8月3日(金) 1限 Aug.3 Fri., 1period	沖 陽子 教授 OKI Yoko, Professor	人間活動を踏まえた代償植生の管理
8月3日(金) 2限 Aug.3 Fri., 2period	沖 陽子 教授 OKI Yoko, Professor	植物バイオマス資源の利用技術
8月3日(金) 3限 Aug.3 Fri., 3period	村山 八洲雄 教授 MURAYAMA Yasauo, Professor	施設の維持管理とエンジニアリング(1)
8月3日(金) 4限 Aug.3 Fri., 4period	村山 八洲雄 教授 MURAYAMA Yasauo, Professor	施設の維持管理とエンジニアリング(2)
8月3日(金) 5限 Aug.3 Fri., 5period	村山 八洲雄 教授 MURAYAMA Yasauo, Professor	施設の維持管理とエンジニアリング(3)

◎はコーディネイターを示す。(◎Cordinator)

2. 生命環境学専攻 (Division of Biological and Human Environment)

授業科目名等	生命環境学特論 Topics in Biological and Human Environment
講義テーマ	生命環境学およびその関連分野における最近の話題と課題 Recent topics and issues in biological and human environment and related fields
講義室	環境理工学部棟1階 103講義室 Lecture Room 103, Building of Faculty of Environmental Science and Technology

日 時 The Date and Time	担当教員 Instructors	内 容 Contents
8月1日(水) 1限 Aug.1 Wed., 1period	河原 長美 教授 KAWARA Osami, Professor	水環境の歴史的变化と環境保全の考え方
8月1日(水) 2限 Aug.1 Wed., 2period	河原 長美 教授 KAWARA Osami, Professor	水環境の健全性に関わる現状と課題
8月1日(水) 3限 Aug.1 Wed., 3period	河原 長美 教授 KAWARA Osami, Professor	水環境保全の工学的方策
8月1日(水) 4限 Aug.1 Wed., 4period	◎佐藤 豊信 教授 SATOH Toyonobu, Professor	水資源の利用・保全と水利権
8月1日(水) 5限 Aug.1 Wed., 5period	◎佐藤 豊信 教授 SATOH Toyonobu, Professor	水資源の利用・保全と水利権
8月2日(木) 1限 Aug.2 Thur., 1period	◎佐藤 豊信 教授 SATOH Toyonobu, Professor	水資源の利用・保全と水利権
8月2日(木) 2限 Aug.2 Thur., 2period	吉川 賢 教授 YOSHIKAWA Ken, Professor	各種のストレスに対する樹木の耐性について
8月2日(木) 3限 Aug.2 Thur., 3period	吉川 賢 教授 YOSHIKAWA Ken, Professor	樹木の環境適応性
8月2日(木) 4限 Aug.2 Thur., 4period	吉川 賢 教授 YOSHIKAWA Ken, Professor	植生回復のための緑化の課題
8月2日(木) 5限 Aug.2 Thur., 5period	山本 秀樹 准教授 YAMAMOTO Hideki, Associate Professor	グローバル化に伴う貧困と健康について
8月3日(金) 1限 Aug.3 Fri., 1period	山本 秀樹 准教授 YAMAMOTO Hideki, Associate Professor	国際保健研究と人口統計・疾病統計
8月3日(金) 2限 Aug.3 Fri., 2period	山本 秀樹 准教授 YAMAMOTO Hideki, Associate Professor	災害医療と国際協力について
8月3日(金) 3限 Aug.3 Fri., 3period	津田 敏秀 教授 TSUDA Toshihide, Professor	環境曝露が人体に及ぼす影響がどこまで分かるか?
8月3日(金) 4限 Aug.3 Fri., 4period	津田 敏秀 教授 TSUDA Toshihide, Professor	環境曝露による人体への影響評価トピックス
8月3日(金) 5限 Aug.3 Fri., 5period	津田 敏秀 教授 TSUDA Toshihide, Professor	環境曝露による人体への影響評価方法論概論

◎はコーディネイターを示す。(◎Cordinator)

3. 資源循環学専攻 (Division of Sustainability of Resources)

授業科目名	資源循環学特論 Topics in Sustainability of Resources
講義テーマ	循環型社会構築に向けた設計と要素技術 Design and technology for the development of sustainable society
講義室	環境理工学部棟1階 105講義室 Lecture Room 105, Building of Faculty of Environmental Science and Technology

日 時 The Date and Time	担当教員 Instructors	内 容 Contents
7月30日(月) 1限 Jul.30 Mon., 1period	◎西垣 誠 教授 NISHIGAKI Makoto, Professor	土壌・地下水汚染での汚染物質の挙動と定量的な評価法(その1)数量的な取り扱い方法
7月30日(月) 2限 Jul.30 Mon., 2period	◎西垣 誠 教授 NISHIGAKI Makoto, Professor	土壌・地下水汚染での汚染物質の挙動と定量的な評価法(その2)数FEMによる数値解析法
7月30日(月) 3限 Jul.30 Mon., 3period	◎西垣 誠 教授 NISHIGAKI Makoto, Professor	土壌・地下水汚染での汚染物質の挙動と定量的な評価法(その3)実際の汚染地盤の解析に必要なパラメータの取り扱い
7月30日(月) 4限 Jul.30 Mon., 4period	難波 徳郎 教授 NANBA Tokuro, Professor	放射性廃棄物のガラス固化技術
7月30日(月) 5限 Jul.30 Mon., 5period	難波 徳郎 教授 NANBA Tokuro, Professor	ガラスの分相現象を利用した廃棄物の無害化処理と再利用
7月31日(火) 1限 Jul.31 Tue., 1period	難波 徳郎 教授 NANBA Tokuro, Professor	省エネルギー対策用ガラス各論
7月31日(火) 2限 Jul.31 Tue., 2period	小野 芳朗 教授 ONO Yoshiro, Professor	資源と廃棄物の定量化した環境容量の評価をする指標を考える(1)
7月31日(火) 3限 Jul.31 Tue., 2period	小野 芳朗 教授 ONO Yoshiro, Professor	資源と廃棄物の定量化した環境容量の評価をする指標を考える(2)
7月31日(火) 4限 Jul.31 Tue., 4period	小野 芳朗 教授 ONO Yoshiro, Professor	資源と廃棄物の定量化した環境容量の評価をする指標を考える(3)
7月31日(火) 5限 Jul.31 Tue., 5period	吉澤 秀和 教授 YOSHIZAWA Hidekazu, Professor	環境と微粒子との関わりについて環境保全の立場から概説する(1)
8月1日(水) 1限 Aug.1 Wed., 1period	吉澤 秀和 教授 YOSHIZAWA Hidekazu, Professor	環境と微粒子との関わりについて環境保全の立場から概説する(2)
8月1日(水) 2限 Aug.1 Wed., 1period	吉澤 秀和 教授 YOSHIZAWA Hidekazu, Professor	環境と微粒子との関わりについて環境保全の立場から概説する(3)
8月1日(水) 3限 Aug.1 Wed., 3period	綾野 克紀 准教授 AYANO Toshiki, Associate Professor	廃棄物資源化の合理的設計体系のあり方を講述する(1)
8月1日(水) 4限 Aug.1 Wed., 4period	綾野 克紀 准教授 AYANO Toshiki, Associate Professor	廃棄物資源化の合理的設計体系のあり方を講述する(2)
8月1日(水) 5限 Aug.1 Wed., 5period	綾野 克紀 准教授 AYANO Toshiki, Associate Professor	廃棄物資源化の合理的設計体系のあり方を講述する(3)

◎はコーディネイターを示す。(◎Coordinator)

3. 岡山大学大学院環境学研究科博士後期課程における他の大学院等で研究指導を受ける学生に関する内規 Rules for Students who Receive Research Guidance in Other Graduate Schools, etc.

(趣旨)

第1条 この内規は、岡山大学大学院環境学研究科規程（以下「規程」という。）第27条第2項の規定に基づき、岡山大学大学院環境学研究科博士後期課程（以下「本研究科」という。）の学生が、他大学の大学院（外国の大学院を含む。）又は研究所等（以下「他大学院等」という。）において、研究指導を受けようとする場合における取扱いに関し必要な事項を定めるものとする。

(願い出)

第2条 他大学院等において研究指導を受けることを希望する者は、所定の許可願を正指導教員の承認を得て、環境学研究科長（以下「研究科長」という。）に提出しなければならない。

(協議)

第3条 研究科長は、前項の願い出があった場合は、研究指導計画等必要な事項について、規程第27条第1項の規定による当該他大学院等との協議を行うものとする。

(許可)

第4条 他大学院等において研究指導を受けることの許可は、前項の協議の結果に基づき、専攻長会議の議を経て研究科長が行うものとする。

(受入依頼)

第5条 研究科長は、前項により他大学院等において研究指導を受けることを許可した者について、当該他大学院に受入依頼を行うものとする。

(許可期間)

第6条 他大学院等において研究指導を受けることができる期間（以下「許可期間」という。）は、1年以内とする。ただし、引き続き研究の継続を必要とする場合は、第1条から第5条の手続きを経たうえで更に延長を行うことができるものとする。

(在学期間の扱い)

第7条 他大学院等において研究指導を受けた期間は、本研究科の修了に必要な在学期間に含めることができる。ただし、修了要件として必要な在学期間のうち、1年以上本研究科の指導教員の研究指導を受けなければならない。

(報告)

第8条 研究科長は、他大学院等において研究指導を受けることを許可された者について、当該研究指導の終了後、当該他大学院等の長から研究指導状況報告書の交付を受けるものとする。

(修了認定)

第9条 他大学院等において受けた研究指導は、専攻長会議の議を経て、本研究科の修了に必要な研究指導の一部として認定することができる。

(授業料)

第10条 他大学院等において研究指導を受けることが許可された者は、許可期間中においても岡山大学に所定の授業料を納付しなければならない。

附 則

この内規は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成19年4月1日から施行する。

4. 岡山大学大学院環境学研究科博士後期課程の研究生に関する内規 Rules for Research Students in Graduate School of Environmental Science, Okayama University

(趣旨)

第1条 この内規は、岡山大学大学院環境学研究科規程第38条第2項の規定に基づき、岡山大学大学院環境学研究科博士後期課程の研究生に関し必要な事項について定めるものとする。

(入学時期)

第2条 研究生の入学の時期は、各学期の始めとする。ただし、特に必要と認める場合は学期の中途とすることができる。

(在学期間)

第3条 研究生の在学期間は、原則として1年又は半年とする。ただし、引き続き研究の継続を必要とする者については、本人の願い出により在学期間の延長を許可することがある。

(入学資格)

第4条 研究生として入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 修士の学位を有する者
- 二 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
- 三 本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(出願手続)

第5条 研究生として入学を志願する者は、原則として入学時期の1月前までに、次の各号に定める書類に検定料を添えて研究科長に願い出なければならない。ただし、国外に居住する外国人にあつては、原則として入学時期の4月前までとする。

- 一 研究生入学願書(所定の様式)
- 二 履歴書
- 三 最終出身学校の卒業証明書又は修了証明書及び成績証明書
- 四 その他特に指示するもの

2 官公庁、会社等に在職している者にあつては、前項に掲げる書類のほか、所定の様式による次の書類を提出しなければならない。

- 一 個人的研究のため教員の指導を受けることを希望するものである旨の本人の確約書
- 二 会社等の事業目的追求のために、その者を研究生として派遣するものでない旨の所属長の確約書及び在職のまま研究生として入学することについて差し支えない旨の所属長の承諾書

(選考)

第6条 研究生の選考は、指導予定教員の承認を得た者について専攻長会議が行う。

(入学手続)

第7条 前条により合格とされた者は、所定の入学手続をしなければならない。

(証明書)

第8条 研究事項証明書は、願い出により研究科長が交付する。

附 則

この内規は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成17年10月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成19年4月1日から施行する。